事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0027				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	今田　耕介
事務事業番号	00254	防犯推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	001　防犯活動の強化				
事務事業	001　防犯推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市生活安全条例、大津市暴力団排除条例、補助金等交付規則				
事業概要	（事業概要） 市民が安心して生活することができる安全な地域社会を実現するため、防犯に関する意識の啓発及び自主的な防犯活動に対する支援を行うことにより、市民ひとりひとりの防犯に対する気運の醸成を図る。また、安全で安心なまちづくりに関する警察との連携協定に基づく取組みの推進や関係機関との連携を強化することで犯罪の防止に取り組み、犯罪のないまちを目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 刑法犯認知件数は減少傾向が続いているが、特殊詐欺は手口が巧妙化し、高齢者の被害も後を絶たないため、犯罪傾向に合わせた防犯対策が必要である。また、犯罪抑止等を目的とした防犯カメラ設置のニーズが増している。 （見直しや改善等の経過） 令和３年１月に「大津市と大津警察署及び大津北警察署との安全で安心なまちづくりに関する協定」を締結し、政策協議を行い、交通事故防止対策や特殊詐欺被害防止対策等の課題に対して、連携して取り組むこととした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、大津市防犯協会、自主防犯活動団体などを対象に
目的(何のために)	犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するために
手段(どのようなやり方で)	警察等の関係機関と連携した啓発活動の展開や、自主防犯活動団体の活動支援等をすることで
成果(どのような状態にするのか)	市民の防犯意識を高揚させ、地域の防犯力を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,039	21,432	31,497	31,459	31,459	31,459	31,459
事業費	11,820	12,262	18,367	18,329	18,329	18,329	18,329
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	622	1,268	1,268	1,268	1,268	1,268	1,268
一般財源	11,198	10,994	17,099	17,061	17,061	17,061	17,061
人件費計	11,219	9,170	13,130	13,130	13,130	13,130	13,130
事務・技術（人）	1.02	0.72	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.93	1.10	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0027
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00254　防犯推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-01-00	防犯推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 34.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	65.00 46.00	48.00 46.80	46.00 0.00	45.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域や関係機関が相互に連携し防犯活動を展開している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	近年犯罪率は減少傾向にあり、目標値を達成している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の実情に応じた、自主防犯活動の支援を行えている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	日々の防犯活動が市民の防犯意識の高揚に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	自主防犯活動の継続・推進が「自分たちの住むまちの安全は自分たちで守る」という地域の防犯意識を高めるため、自主防犯活動団体への支援を継続する。警察等の関係機関と緊密に連携を図り、犯罪の発生状況や専門的な知見を活かした取組みを展開する。 特に、犯罪の手口が巧妙かつ多様化する中で、警察等と連携して特殊詐欺対策等のより効果的な取組みを実施するとともに、防犯のための情報を速やかかつ適切に発信する仕組みを検討していく。また、ニーズが高まる防犯カメラについて、地域への支援の強化を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	自主防犯活動団体への支援や警察等の関係機関との連携強化に加え、特殊詐欺対策等に対し、犯罪の発生状況や専門的な知見を活かした取組みを展開すること。防犯情報を速やかに発信する仕組みを検討すること。ニーズが高まる防犯カメラの設置など地域への支援策を強化すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00254　防犯推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 34.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例に基づく防犯組織						
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	65.00 46.00	48.00 46.80	46.00 0.00	45.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00
	指標説明	１～１２月の市内における人口１万人あたりの　犯罪発生（認知）の件数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0028				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	今田　耕介
事務事業番号	00294	交通安全推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	002　交通安全のまちづくり				
事務事業	001　交通安全推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	交通安全対策基本法				
事業概要	（事業概要） 警察、交通安全協会等の関係機関と連携した全国交通安全運動、交通安全県民運動、近江路交通マナーアップ運動に加え、市独自の「ゆりかもめ運動」等の啓発活動を実施するとともに、未就学児やその保護者、高齢者等、発達の段階に応じた交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚につなげる。 また、交通安全協会、水上安全協会の活動に対して補助金を交付し、専門性のある有効的な啓発活動を支援する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内の交通事故件数、死傷者数はともに減少するも、死者数は横ばいであり、高齢者の交通事故の割合が高くなっている。令和元年には園児を巻き込む交通事故も発生し取組みの強化が必要とされている。 （見直しや改善等の経過） 交通事故のない安全で安心な地域社会の実現に向け、大津市交通安全条例を制定し令和４年４月に施行し、財政上の措置として交通安全基金を創設した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民及び事業者等を対象に
目的（何のために）	交通事故のない安全・安心な地域社会を実現するために
手段（どのようなやり方で）	啓発活動の実施や交通安全教室の開催、交通安全協会への支援をすることで
成果（どのような状態にするのか）	市民の交通安全意識が高揚し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践が進む。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	21,666	121,921	33,985	34,885	36,485	36,485	36,485
事業費	5,954	105,651	16,152	17,052	18,652	18,652	18,652
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	100,000	10,000	10,900	12,500	12,500	12,500
一般財源	5,954	5,651	6,152	6,152	6,152	6,152	6,152
人件費計	15,712	16,270	17,833	17,833	17,833	17,833	17,833
事務・技術（人）	1.07	1.22	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.26	2.10	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0028
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-05-00	交通安全推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00 96.00	120.00 90.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00 185.00	240.00 96.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00
(成果)交通事故負傷者数	人	1,295.00 877.00	980.00 801.00	948.00 0.00	915.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00 9.00	5.00 8.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市、市民、警察等の関係機関が相互に連携し取り組んでいる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	交通事故件数や死傷者数は減少し、目標値を達成している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	専門的な知見を有する警察等と連携を図り、取り組んでいる。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	啓発、教育を通じて、交通安全意識の高揚に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	幼児・保護者、園職員向けのおさんぽ教養等の教育、啓発活動の充実を図るとともに、警察署や交通安全協会等の関係機関との連携を強化してきた。 また、交通事故のない地域社会の実現に向けて、大津市交通安全条例を制定し、財政上の措置として、交通安全基金を創設した。今後は、交通安全条例の実効性を高めるため、大津市交通安全計画の策定を進めるとともに、事故の特徴を踏まえた重点的な対策、特に交差点や自転車、高齢者の事故、歩きスマホの禁止等に取り組んでいく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	交通安全条例の実効性を高めるため、大津市交通安全計画の策定を進めるとともに、特に交差点や自転車、高齢者の事故、歩きスマホの禁止等について具体的な取組みを事業パッケージとして展開すること。また、交通安全条例に基づき、見通しの確保を推進するための指針のとりまとめを進めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00 96.00	120.00 90.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	交通安全教室１教室実施で１回						
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00 185.00	240.00 96.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00
	指標説明	街頭啓発活動に従事した人数						
(成果)交通事故負傷者数	人	1,295.00 877.00	980.00 801.00	948.00 0.00	915.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00
	指標説明	交通事故負傷者件数とは、「重傷者」と「軽傷者」の合計数						
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00 9.00	5.00 8.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	上記事故によって２４時間以内に死亡した者の数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0029				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	藤井　智典
事務事業番号	00614	自治会育成事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	004　自治会育成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱				
事業概要	（事業概要） 自治会の組織化の促進と育成を図るため、市の広報紙、各種回覧物の配布をはじめとする市政運営の協力及び地域における様々な取り組みや活動に対して報償金を交付している。また、自治会拠点施設の設置・改造に対する「ふれあいの家設置事業補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」を実施している。大津市自治連合会に対しては、各学区間の連絡調整や市政運営上の諸施策の協力について助成を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化により、自治会をはじめ地域の各種団体で役員の固定化や高齢化による担い手不足が課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 市から自治会への依頼事項や行政協力委員の整理を行い、負担軽減を図るとともに、事例集を作成して広報啓発を行うとともに、令和３年度は瀬田北学区をモデル地区に選定し、加入促進の取り組みに着手した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	自治会、自治会長、学区自治連合会、学区自治連合会長、大津市自治連合会等を対象に
目的（何のために）	市政運営を円滑に推進し、自治会活動の活性化、地域住民の自治意識や連帯意識の高揚を図るために
手段（どのようなやり方で）	報償金及び補助金による支援策を講じることで
成果（どのような状態にするのか）	地域活動基盤の充実や自治会活動の活性化が図れる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	119,752	144,596	119,957	157,872	157,872	157,872	154,872
事業費	105,396	130,511	107,267	145,182	145,182	145,182	142,182
国庫支出金	0	0	3,500	0	0	0	0
県支出金	2,013	3,349	2,013	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,600	0	0	17,500	17,500	17,500	17,500
一般財源	100,783	127,162	101,754	127,682	127,682	127,682	124,682
人件費計	14,356	14,085	12,690	12,690	12,690	12,690	12,690
事務・技術（人）	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.75	0.75	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0029
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00614　自治会育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-16-00-01-00	自治会育成事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00 11.00	15.00 16.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	15.00 12.00	15.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)自治会数	件	725.00 720.00	725.00 723.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00
(成果)自治会加入率	%	60.00 57.40	58.10 56.10	57.10 0.00	58.05 0.00	59.02 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域活動の基盤であり担い手育成や活性化を図ることは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	加入率は減少しているものの自治会数は現況維持している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	自治会館や掲示板への補助は地域活動の充実に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	自治会の支援・育成は地域コミュニティの充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	自治会加入率は依然として減少しているが、瀬田北学区モデル事業を通じ、「役員の負担軽減」「新規転入者への入会案内」「高齢化への対応」「防災の充実」「役員交代時の引継ぎ負担軽減」などの方向性が確認され、ＱＲコードを活用した加入案内チラシの支所での配布など、３つの取組みが始まった。今後成果を検討し、他学区へも横展開が必要である。また、負担軽減と参加しやすい環境づくりのため、自治会活動のデジタル化も促進していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	自治会加入促進モデル地域における取り組みやＩＣＴ化等の支援策に加え、自治会加入率の向上につながる施策について、大津市職員協働推進本部を通じて分野横断的に検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00614　自治会育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00 11.00	15.00 16.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	ふれあいの家設置事業費補助金交付件数						
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	15.00 12.00	15.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	ふれあい掲示板設置事業費補助金交付件数						
(成果)自治会数	件	725.00 720.00	725.00 723.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00
	指標説明	市内自治会設置数						
(成果)自治会加入率	%	60.00 57.40	58.10 56.10	57.10 0.00	58.05 0.00	59.02 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	自治会加入世帯数／住民基本台帳世帯数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0030				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	藤井　智典
事務事業番号	00620	交流（コミュニティ）施設管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	001　交流（コミュニティ）施設管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市滋賀里交流センター条例、木戸交流センター条例				
事業概要	（事業概要） 地域コミュニティ施設として、地域住民の親睦を深め、人と人との交流により地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした、滋賀里交流センター、木戸交流センター、堅田なぎさ苑の管理運営事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染拡大により、施設の閉館時間短縮や３密回避のための利用者制限や利用の自粛など交流施設の利用を促進する上で厳しい環境となった。 （見直しや改善等の経過） 木戸交流センターは指定管理者からの事業提案に基づく利用促進に取り組み、滋賀里交流センターは地域交流施設として地域に運営委託し、堅田なぎさ苑は令和２年度施設老朽化に伴う解体を行い、地域交流広場として活用していく予定。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域住民、地域コミュニティ活動を対象に
目的(何のために)	地域交流によるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	地域コミュニティの場を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	住民の主体的なまちづくり活動が活性化する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	48,833	24,480	14,798	15,091	18,091	118,891	11,705
事業費	42,519	15,520	5,838	6,131	9,131	109,931	2,745
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	36	30	30	30	30	30
一般財源	42,514	15,484	5,808	6,101	9,101	109,901	2,715
人件費計	6,314	8,960	8,960	8,960	8,960	8,960	8,960
事務・技術（人）	0.77	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0030
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-25-00	交流（コミュニティ）施設管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)施設利用者数	人	13,600.00	10,000.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00
		4,146.00	3,987.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	550.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00	570.00
		498.00	578.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一日当たりの利用者数	人	20.00	18.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
		8.30	6.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域コミュニティの維持や地域活動の活性化に繋がるものである			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	コロナの影響下でも地域活動拠点として根強い利用がある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の運営委員会への委託、指定管理により効率的に運営している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域コミュニティ活動拠点として住民交流の活動に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	滋賀里・木戸両交流センターは、地域のコミュニティ施設として各種団体による利用が定着しており、引き続きさらなる利用促進を図っていく必要がある。堅田なぎさ苑跡地は令和３年度にトイレの整備を行い、地域の交流の広場として利用できる環境が整った。なお、木戸交流センターについては、施設の老朽化が進んでいることから、近隣にある類似施設も含め、あり方の検討を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	滋賀里交流センターや木戸交流センターの利用促進を図るため、地域の運営委員会や指定管理者との連携に努めること。堅田なぎさ苑跡地が地域の交流広場として活用されるよう取り組むこと。施設が老朽化してきている木戸交流センターは、今後のあり方の検討も進めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)施設利用者数	人	13,600.00 4,146.00	10,000.00 3,987.00	5,100.00 0.00	5,100.00 0.00	5,100.00 0.00	5,100.00 0.00	5,100.00 0.00
	指標説明	延べ施設利用者数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(活動)開館日数	日	550.00 498.00	570.00 578.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00
	指標説明	延べ開館日数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(成果)一日当たりの利用者数	人	20.00 8.30	18.00 6.80	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00
	指標説明	施設を利用した延べ数／延べ開館日数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0031				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	藤井　智典
事務事業番号	00623	わがまちづくり市民運動推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	002　わがまちづくり市民運動推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市補助金等交付規則				
事業概要	（事業概要） わがまちづくり市民運動推進会議は、平成１６年から市民によるまちづくりを目指して、”市民運動推進事業”や”花と緑のまちづくり推進事業”を展開している連携体である。市民、市民団体等の手による豊かで活力ある連携した地域活動を推進するため、活動経費に対する助成を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域の各種団体の役員の高齢化が進み、担い手不足が課題である中、多様な主体が協力するまちづくりが求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成２８年度から地域の魅力を活かした新たなまちづくりの事業を推進するため、各種団体が協働して学区単位で事業を行う「地域活性化事業」と、テーマ・ブロック単位で事業を行う「広域連携事業」の支援を行っている				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	わがまちづくり市民運動推進会議を対象に
目的(何のために)	市民、市民団体等の手によるまちづくり活動を活発化させるために
手段(どのようなやり方で)	補助金による支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民、市民団体等の手による、それぞれの地域性を活かしたまちづくりが推進されるとともに、各種団体や世代を越えたコミュニティが形成され、住民主体のまちづくりが展開される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,382	6,508	6,865	7,040	6,865	6,865	6,865
事業費	3,861	4,038	4,550	4,550	4,550	4,550	4,550
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,861	4,038	4,550	4,550	4,550	4,550	4,550
人件費計	2,521	2,470	2,315	2,490	2,315	2,315	2,315
事務・技術（人）	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.05	0.00	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0031
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00623　わがまちづくり市民運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-20-00	わがまちづくり市民運動推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)わがまちづくり市民運動推進会議構成団体数	団体	55.00 53.00	55.00 53.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
(成果)わがまちづくり市民会議等の開催回数	回	30.00 27.00	30.00 24.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
(成果)花壇の面積	㎡	7,000.00 6,115.00	7,000.00 7,475.85	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域性を活かした市民によるまちづくりの推進に繋がっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各事業の実施を通じて地域コミュニティの醸成に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の多様な主体が実践するまちづくり活動に寄与している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の魅力を活かした地域コミュニティの充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	各地域で、まちづくり活動の担い手不足等が課題となる中、当該事業を通じて自治連合会や各種団体が地域課題を共有し、連携・協力して実施する事業を支援することは重要である。市民参加によるまちづくりの促進や、学区を越えた連携を図るため、引き続き事業のあり方を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	自治連合会や各種団体が地域課題を共有し、連携・協力して実施する事業への支援は重要であり、当会議が担ってきた市民参加によるまちづくりや学区を越えた連携が進むよう、引き続き事業のあり方を検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00623　わがまちづくり市民運動推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)わがまちづくり市民運動推進会議構成団体数	団体	55.00 53.00	55.00 53.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
	指標説明	市民運動推進会議の構成団体数						
(成果)わがまちづくり市民会議等の開催回数	回	30.00 27.00	30.00 24.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	市民運動推進会議等の開催回数						
(成果)花壇の面積	㎡	7,000.00 6,115.00	7,000.00 7,475.85	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00
	指標説明	花づくり活動参加グループによる花壇面積						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0032				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1170	市民部協働のまちづくり推進室		記入者	高山　麻美
事務事業番号	01840	協働のまちづくり推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	004　協働のまちづくり推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市「結の湖都」協働のまちづくり推進条例				
事業概要	（事業概要） 大津市「結の湖都」協働のまちづくり推進条例に基づき策定した大津市協働推進計画については、令和２年度に見直しを行い新たに改定計画を策定した。改定計画では、協働のまちづくりを実践的に進めるため、これまでの成果や課題、社会情勢を踏まえた４つの視点を掲げ視点ごとに取組を進めることとしており、三者委員会や職員協働推進本部と連携し組織横断的に地域の実情に合わせた協働のまちづくりを推進していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 多様化、複雑化する地域課題、住民ニーズへの対応が必要となる中、地域の特色や実情に応じたまちづくりや、地域活動の担い手の充実と意識醸成、協働によるまちづくりの推進が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度に地域の実情に応じたまちづくりや担い手の充実と意識醸成を重点とする改定計画を策定した。また、新型コロナウイルス感染症による地域への影響に対し、地域元気づくり事業を実施するとともに、高校生を対象とした次世代ワークショップに着手した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民・市民団体、事業者及び市が、
目的(何のために)	地域の特色に合わせたまちづくりを推進するとともに、みんなが活躍する協働のまちの実現を目指すために、
手段(どのようなやり方で)	大津市協働のまちづくり推進計画改定計画に基づき、「大津市協働を進める三者委員会」及び「大津市職員協働推進本部」と連携し取り組みを進めることで
成果(どのような状態にするのか)	誰もが主体的にまちづくりに参加し、みんなが力を合わせて将来にわたり、助け合い支え合う、協働のまちづくりが進んでいる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,852	9,582	12,304	11,704	11,704	11,704	11,704
事業費	1,046	3,022	4,876	4,276	4,276	4,276	4,276
国庫支出金	0	0	3,900	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	610	293	190	190	190	190	190
一般財源	436	2,729	786	4,086	4,086	4,086	4,086
人件費計	6,806	6,560	7,428	7,428	7,428	7,428	7,428
事務・技術（人）	0.83	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0032
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
事務事業番号　01840　協働のまちづくり推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-60-00-05-00	協働のまちづくり推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)三者委員会の開催件数	回	3.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
(活動)職員協働推進本部の開催件数	回	3.00 3.00	3.00 1.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)ＮＰＯ法人・市民活動団体等との協働事業数	事業	6.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)パワーアップ・市民活動応援事業の採択事業数	事業	5.00 3.00	2.00 1.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の実情に合わせた協働によるまちづくりの推進を図っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	まちづくり協議会の設立など具体的な取組みが進んでいる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	三者委員会や協働推進本部を設置し、推進計画を進めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	計画に基づく取組を進めることで協働のまちづくりに貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	令和２年度策定の改定計画に掲げる取組みを進めることで、地域の実情に応じたまちづくりや担い手の充実に取組む必要がある中、新型コロナウイルス感染症の対策として実施した地域元気づくり事業は、地域活動の基盤づくりのきっかけにつながった。また高校生による次世代ワークショップは、次の世代のまちづくりへの意識醸成を図ることにつながった。今後は、地域活動との関わりを通じて若い世代の人材育成に取り組むとともに、パワーアップ・市民活動応援事業や三者委員会の充実についても進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	大津市協働のまちづくり推進計画改定計画に基づき、将来にわたり助け合い支え合う協働のまちづくりを推進するとともに、大津市職員協働推進本部を通じて部局横断的に自治会加入率低下等の課題に対する対策を検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01840　協働のまちづくり推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)三者委員会の開催件数	回	3.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	大津市協働を進める三者委員会の開催件数						
(活動)職員協働推進本部の開催件数	回	3.00 3.00	3.00 1.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	職員協働推進本部の開催件数						
(成果)ＮＰＯ法人・市民活動団体等との協働事業数	事業	6.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	協働提案事業の実施数　※令和元年度以降はまちづくり提案制度公表事業数						
(成果)パワーアップ・市民活動応援事業の採択事業数	事業	5.00 3.00	2.00 1.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	パワーアップ・市民活動応援事業の採択事業数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0033				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1170	市民部協働のまちづくり推進室		記入者	高山　麻美
事務事業番号	01868	市民活動センターの機能の充実			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	009　市民活動センターの機能の充実				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市市民活動センター条例				
事業概要	（事業概要） 協働のまちづくりの機運を高め、多数の市民、市民団体が主体的・意欲的にまちづくりに参加できる環境を整備し、協働の拠点施設としての機能の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 人口減少や少子高齢化などによる担い手不足が深刻化してきている中、まちづくりの担い手となる様々な団体・個人が地域の実情に合わせたまちづくりを行う必要性が出てきている。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度、仕様書の業務に「地域のまちづくり活動に関する支援事業」を新たに加え、協働のまちづくり推進計画改定計画を推進するための中間支援施設として機能するよう見直しをした。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民、市民活動団体、ＮＰＯ等を対象に、
目的（何のために）	市民活動及び協働のまちづくりを推進するために、
手段（どのようなやり方で）	市民公益活動のための施設の提供や活動の相談、情報の収集及び発信、人材育成講座等の開催、団体間の交流を図る事業の実施、地域のまちづくり活動に関する支援などの中間支援機能を発揮することで、
成果（どのような状態にするのか）	市民公益活動に関する人や情報が活発に行き交う、協働の拠点施設としての機能が充実する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	19,463	19,618	19,838	19,904	19,997	19,997	19,997
事業費	14,379	13,858	13,768	13,834	13,927	13,927	13,927
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	14,379	13,858	13,768	13,834	13,927	13,927	13,927
人件費計	5,084	5,760	6,070	6,070	6,070	6,070	6,070
事務・技術（人）	0.62	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0033
評価年度　令和 3年度　　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
事務事業番号　01868　市民活動センターの機能の充実

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-60-00-20-00	市民活動センターの機能の充実事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)市民活動センター会議室利用件数	件	2,650.00 2,175.00	2,500.00 2,327.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
(活動)市民活動センターに登録している団体数	団体	190.00 183.00	190.00 183.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00
(成果)市民活動センター会議室利用者数	人	30,900.00 24,128.00	27,500.00 23,730.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00
(成果)市民活動センター交流スペース利用者数	人	38,000.00 21,167.00	24,000.00 23,365.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	三者協働のノウハウを有する指定管理者が事業実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民団体等との連携により、協働のきっかけづくりを行っている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	協働のコーディネーターとして、団体相互の連携を促進している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	中間支援施設として、人材育成や協働の推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者は減少したが、登録の市民団体数は現状を維持できている。これら団体のもつ知識やノウハウを活かすための中間支援施設として、更なる機能の充実が必要である。また、新たに指定管理の仕様書に加えた地域のまちづくり活動に対する支援を充実させ、地域の課題解決やまちの活性化につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	仕様書の業務内容にある地域のまちづくり活動に関する支援事業を進め、協働の拠点施設としての機能の充実を図っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01868　市民活動センターの機能の充実

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)市民活動センター会議室利用件数	件	2,650.00 2,175.00	2,500.00 2,327.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	会議室の利用件数						
(活動)市民活動センターに登録している団体数	団体	190.00 183.00	190.00 183.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00	190.00 0.00
	指標説明	登録団体数						
(成果)市民活動センター会議室利用者数	人	30,900.00 24,128.00	27,500.00 23,730.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00	27,500.00 0.00
	指標説明	会議室利用者数						
(成果)市民活動センター交流スペース利用者数	人	38,000.00 21,167.00	24,000.00 23,365.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00	24,000.00 0.00
	指標説明	交流スペース利用者数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0034				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1170	市民部協働のまちづくり推進室		記入者	寺西　朋宏
事務事業番号	03419	自主運営試行事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	008　自主運営試行事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 公民館をコミュニティセンター化し、地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的とした大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化など社会環境の変化とともに、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 自主運営試行事業において運営ノウハウを習得することで、コミュニティセンター移行後も適切な管理運営の実施につながるよう必要な支援を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	公民館管理・運営業務の一部を
目的（何のために）	地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的に
手段（どのようなやり方で）	地域団体に委託することで
成果（どのような状態にするのか）	コミュニティセンターの自主運営のための組織づくりと運営ノウハウの習得を行い、コミュニティセンター化及び自主運営への移行を目指していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	10,591	10,580	8,483	7,681	4,470	4,470	4,470
事業費	3,949	6,420	4,013	3,211	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,949	6,420	4,013	3,211	0	0	0
人件費計	6,642	4,160	4,470	4,470	4,470	4,470	4,470
事務・技術（人）	0.81	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0034
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-21-00-04-00	自主運営試行事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	5.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(成果)目標達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	将来的にコミセンの運営を担う団体が実施しているため妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	広報誌作成や貸館受付等のノウハウ習得に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	公民館業務について、地域が主体的にノウハウを学ぶことができる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	多様な主体による協働のまちづくりの推進につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	自主運営試行事業に取組んだ学区においては、多くの学区で公民館からコミュニティセンターへの移行が図られ、適正な管理運営が行われている。今後も、組織づくりや運営ノウハウを習得できる機会を提供できるよう、継続していくことが必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公民館自主運営試行事業の新たな参加学区の募集と参加に向けた支援を行うこと。また、組織づくりや運営ノウハウの習得の機会として、先行して取り組んだ地域の情報共有等の支援を行うなど、地域と協議しながら取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	5.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区数　※令和２年度以降は公民館自主運営試行事業の参加学区数						
(成果)目標達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区目標達成率　※令和２年度以降は公民館自主運営試行事業						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0035				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1170	市民部協働のまちづくり推進室		記入者	寺西　朋宏
事務事業番号	04024	まちづくり協議会設立運営支援事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	006　まちづくり協議会設立運営支援事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	まちづくり協議会設立支援補助金、運営補助金交付要綱				
事業概要	（事業概要） 地域の課題を地域のみんなで共有し、学区全体のまちづくりを話し合い、活動する場となるまちづくり協議会の設立及び運営に対し助成や支援を行い、地域の実情に合わせた協働のまちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化など社会環境の変化とともに、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） まちづくり協議会の設立が地域の実情に合わせて進められるよう、地域の意向に基づく説明会の開催や個別協議、また各学区のまちづくり協議会の取組を事例集として広く周知するなど必要な支援を実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	まちづくり協議会及びまちづくり協議会の設立に取り組む団体を対象に
目的（何のために）	多様な主体がつながり、助け合い支え合いながら地域の実情に合わせた協働のまちづくりを推進するために、
手段（どのようなやり方で）	説明会、意見交換会、個別協議、また運営及び設立に向けた取組に対する助成や支援を行うことで、
成果（どのような状態にするのか）	地域の実情に応じたまちづくり協議会の設立が進み、運営が継続されることで、協働のまちづくりを推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	10,364	8,768	11,180	11,580	11,980	11,980	11,980
事業費	3,230	3,008	4,800	5,200	5,600	5,600	5,600
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,230	3,008	4,800	5,200	5,600	5,600	5,600
人件費計	7,134	5,760	6,380	6,380	6,380	6,380	6,380
事務・技術（人）	0.87	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0035
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
事務事業番号　04024　まちづくり協議会設立運営支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-30-00	まちづくり協議会設立運営支援事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)まちづくり協議会設立支援補助金交付学区数	学区	7.00 7.00	11.00 5.00	6.00 0.00	8.00 0.00	5.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(活動)まちづくり協議会運営補助金交付学区数	学区	5.00 6.00	11.00 9.00	15.00 0.00	18.00 0.00	23.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00
(成果)まちづくり協議会設立学区数	学区	5.00 8.00	18.00 15.00	18.00 0.00	23.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の課題解決に取り組むまち協への助成・支援は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	まち協の設立は地域コミュニティの充実に有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	まち協設立によりこれからのまちづくりを考える機運が高まる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	まちづくり協議会の設立が協働のまちづくりの推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	地域の実情に応じて地域の課題を共有し、多様な主体が共に連携してまちづくり行うためのプラットホームであるまちづくり協議会の設立が進みつつあり、設立状況は現在３６学区中１５学区である。今後も、地域の主体性を育み、取り組めるための基盤となる支援として、現在の支援を継続し、地域の必要に応じて対応していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	まちづくり協議会の設立や運営に対し、今後も地域の現状や意向を把握しながら地域の実情に合わせた支援を行っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04024　まちづくり協議会設立運営支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)まちづくり協議会設立支援補助金交付学区数	学区	7.00 7.00	11.00 5.00	6.00 0.00	8.00 0.00	5.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	まちづくり協議会の設立に向けた取組を進める学区への補助金交付学区数						
(活動)まちづくり協議会運営補助金交付学区数	学区	5.00 6.00	11.00 9.00	15.00 0.00	18.00 0.00	23.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00
	指標説明	設立されたまちづくり協議会への運営に対する補助金交付学区数						
(成果)まちづくり協議会設立学区数	学区	5.00 8.00	18.00 15.00	18.00 0.00	23.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00
	指標説明	まちづくり協議会が設立された学区数（基準日については次年度の４月１日）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0036				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	北﨑　祐慈
所属	1170	市民部協働のまちづくり推進室		記入者	寺西　朋宏
事務事業番号	04026	コミュニティーセンター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	007　コミュニティーセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市コミュニティセンター条例、大津市コミュニティセンター管理運営業務委託事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 地域の実情に合わせてコミュニティセンターを設置し、まちづくり協議会に運営を委託することにより、まちづくり活動の拠点としての機能を活かし、地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化により、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 公民館のコミュニティセンターへの移行については、地域と協議を重ねながら、地域の実情に合わせて進めており、コミュニティセンター事業の充実と地域が活動しやすい環境づくりを進めてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	コミュニティセンターの管理運営業務を
目的(何のために)	地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進するために、
手段(どのようなやり方で)	まちづくり協議会に委託することで、
成果(どのような状態にするのか)	コミュニティセンターにまちづくりの担い手が集い様々な地域活動が活発に行われるなど、地域のまちづくりの活動拠点としての機能を活かし、多様な主体による協働のまちづくりを推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	35,045	54,554	90,439	104,508	128,102	134,124	141,097
事業費	23,019	33,834	57,404	74,278	92,477	97,699	110,252
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,039	2,602	3,811	4,083	5,172	5,444	5,444
一般財源	21,980	31,232	53,593	70,195	87,305	92,255	104,808
人件費計	12,026	20,720	33,035	30,230	35,625	36,425	30,845
事務・技術（人）	1.17	1.82	2.72	2.82	3.32	3.42	3.42
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用（人）	0.60	1.80	3.45	2.10	2.55	2.55	0.75
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0036
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-55-00-01-00	コミュニティセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	14.00 0.00	15.00 0.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)地域による自主運営実施数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	14.00 0.00	15.00 0.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	まち協が運営することで地域の活動拠点として機能している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	担い手が集い活動することが協働のまちづくりの推進に繋がる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体を包括したまちづくり協議会が運営するため効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	コミセンが活動拠点となり協働のまちづくりが推進されている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	地域の実情に応じて１４学区において公民館からコミュニティセンターへの移行が図られ、地域の主体的な協働のまちづくりが推進されつつある。今後は、コミュニティセンターへ移行したことで地域の実情に合わせた事業の充実につなげていくとともに、適切な管理運営が図られるよう取り組んでいく。また、コミュニティセンターへの移行を希望する学区に対しては必要な対応に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	現在１４学区においてコミュニティセンターを設置し、まちづくり協議会への委託による運営が始まっている。地域の実情に合わせた協働のまちづくりの活動拠点として、まちづくりの担い手が集い様々な地域活動の実施に繋げていくために、今後もコミュニティセンターの機能や活動を広く周知し、さらなる充実を図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1170　市民部協働のまちづくり推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	14.00 0.00	15.00 0.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域の実情に合わせた公民館のコミュニティセンター化実施学区数						
(成果)地域による自主運営実施数	学区	5.00 5.00	8.00 8.00	14.00 0.00	15.00 0.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域の主体的なまちづくり活動の拠点としての自主運営実施数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0037				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	徳野　有仁
所属	1168	市民部市民相談室		記入者	徳野　有仁
事務事業番号	01217	広聴及び市民相談事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035　開かれた市政の推進				
取組の方向性	002　オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	008　広聴及び市民相談事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 行政と市民が情報を共有しながら相互理解を深め、市民の市政への参加を促し、協働によるまちづくりを推進するためのコミュニケーション手段である広聴の一環として、「市民の声」、「学区要望」を実施し、「特別相談」では市が介入することが出来ない市民の抱える諸問題の解決の一助として専門家への相談の機会を提供している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 生活様式が多様化する中、市民が抱える問題や意見等もまた多様である。地域や人とのつながり方も変化する中、専門家に相談する機会の確保や、複雑化する要望や意見等を市政へ反映するための手法が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度は、特別相談では、終活や相続の多様な相談の需要に応えるべく、司法書士による「相続手続相談」を開設した。学区要望については修繕依頼の締切を年４回に変更し、対応の迅速化を図った。 また、令和３年度は、市民相談室やコールセンターなどに寄せられた要望、相談などの「市民の声」を整理、分類し、統計的に分析して事務事業に反映させる仕組みを構築し運用をはじめた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市が介入することができない市民からの相談を解決するため、また、市民や地域からの要望や意見などを市政に反映するため
手段（どのようなやり方で）	弁護士、税理士、司法書士等の専門家による定期的な特別相談を開設することで、また、市民から寄せられる要望や意見等を迅速に担当部局に伝達するとともに、それらを資料化し広報広聴推進本部会議で共有する。さらに、コールセンターなどに寄せられた「市民の声」を統計的に分析して、事務事業に反映させる仕組みを運用していくことで
成果（どのような状態にするのか）	市民の相談の早期解決が図られ、また、行政に対する要望や意見が、事務事業に反映される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,321	38,272	36,214	31,782	34,182	34,182	34,182
事業費	5,874	10,869	11,211	11,069	11,069	11,069	11,069
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,874	10,869	11,211	11,069	11,069	11,069	11,069
人件費計	14,447	27,403	25,003	20,713	23,113	23,113	23,113
事務・技術（人）	1.35	2.40	2.10	1.60	1.90	1.90	1.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.65	0.65	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用（人）	1.10	1.43	1.43	1.43	1.43	1.43	1.43
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0037
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-01-00	広聴及び市民相談事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)市民相談対応件数	件	3,700.00 3,151.00	4,200.00 3,201.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00 87.50	90.00 77.67	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体的に市政運営に対する広聴事業を実施するのは妥当ある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	専門家への相談機会の提供は市民の安心な生活のために有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市民の声を市政に反映する仕組みを構築して効率性を高める。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民が抱える課題の早期解決を図り各施策実施に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民が抱える様々な相談などの早期解決が図れるよう、市民ニーズにあった専門家による特別相談を実施するとともに、市民相談室やコールセンターなどに寄せられた相談、要望などの「市民の声」を整理、分類し、統計的に分析して事務事業に反映させる仕組みを活用する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	昨年度に構築した「市民の声」を統計的に分析し事務事業に反映する仕組みの効果的な運用に努めること。 予約や利用状況等を検証し、市民のニーズに応える特別相談の構成を検討する。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)市民相談対応件数	件	3,700.00 3,151.00	4,200.00 3,201.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00
	指標説明	一般相談＋特別相談						
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00 87.50	90.00 77.67	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	年間利用件数／年間開設件数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0038				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	徳野　有仁
所属	1168	市民部市民相談室		記入者	徳野　有仁
事務事業番号	02581	コールセンター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035　開かれた市政の推進				
取組の方向性	002　オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	007　コールセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 代表電話や代表メール等による問い合わせの窓口を集約し、オペレーターが内容を聞き取り、ＦＡＱ（質問及び回答集）の情報をもとに迅速かつ適切な電話対応とスムーズな担当課への引継ぎを実現し、市民サービスの向上と行政事務の改善を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ライフスタイルや市民生活における情報ニーズが多様化する中、市の事業等に関する問い合わせも多種多様である。よって市民に対して迅速で質の高いサービスを提供することが求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度１０月より、公募型プロポーザルにより選定した新たな受託者によって運営している。市民の問い合わせを一元的に受け付け、丁寧かつ迅速に対応するとともにオペレーターのスキルアップやＦＡＱの充実に取り組むことで、市民サービスの向上に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民をはじめ本市の行政サービスに関係するかたを対象に
目的(何のために)	市民サービスの向上を図るため、また、行政事務の効率化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コールセンターを設置して代表電話やメールを一元的に受け付けて、コールセンターにおいてＦＡＱなどの行政情報により回答可能なものは回答完了し、回答不可能なものは業務所管課へ的確に転送することで
成果(どのような状態にするのか)	問合せ窓口のワンストップ化や、高い電話応対技術による標準化された回答により、市民サービスが向上する。 さらに、コールセンターにおける回答件数を増やすことで、市の業務所管課の対応に係る負担が軽減する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	67,200	61,374	63,592	76,199	81,825	81,825	81,825
事業費	54,596	56,171	56,169	64,196	72,222	72,222	72,222
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,279	3,481	3,482	3,981	4,478	4,478	4,478
一般財源	50,317	52,690	52,687	60,215	67,744	67,744	67,744
人件費計	12,604	5,203	7,423	12,003	9,603	9,603	9,603
事務・技術（人）	1.29	0.45	0.80	1.30	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用（人）	0.66	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0038
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-02-00	コールセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)応答率	%	90.00	95.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		87.20	86.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平	秒	25.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		13.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)回答率（令和２年度より市民満足度総合評価を適用）	%（点）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.90	4.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)回答完了応対時間	時間	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		4,291.00	1,861.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	専門的な事業者へ委託することにより迅速、丁寧な対応ができる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	オペレーターのスキル向上などで市民満足度も高い評価を得ている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	応対品質向上とＦＡＱ充実によりサービス向上と事務効率化を図る			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民サービス向上と事務負担軽減に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民からの電話やメール等による問い合わせを一元的に受け付け丁寧で迅速な対応により、回答の完結または担当課への引き継ぎを適切に実現し、市民サービスの向上と職員の負担軽減に寄与している。また、オペレーターのスキルアップやＦＡＱの充実に努めている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	これまでの実績を踏まえ、対応スキルの向上及びＦＡＱ充実の取り組みを進め、今後も市民サービス向上と事務の効率化を図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)応答率	%	90.00 87.20	95.00 86.30	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	応答件数／着信件数						
(活動)コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平	秒	25.00 13.00	20.00 10.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平均時間（計算式　合計応答時間÷応答件数）						
(成果)回答率（令和２年度より市民満足度総合評価を適用）	%（点）	4.00 4.90	4.00 4.92	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	回答件数／応答件数（令和２年度より市民満足度総合評価（５点満点）の平均点数）						
(成果)回答完了応対時間	時間	5,000.00 4,291.00	5,000.00 1,861.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00
	指標説明	オペレーターで回答完了した電話の年間応対時間（スキル向上及びＦＡＱ充実により時間が短縮）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0039				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	細川　力男
所属	1119	市民部文化振興課		記入者	椚座　大介
事務事業番号	00766	市展・文化祭・写真展等事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	001　市展・文化祭・写真展等事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 文化活動の成果を発表・鑑賞する場を市民に提供し、市民の主体的な文化活動を支援する。美術展覧会及び写真展覧会を開催するとともに、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 美術展、写真展への出品や文化祭への参加は高齢者が多い。次世代を担う若年層の活動への継続的な働きかけが求められている。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、出品数や参加数は減少した。 （見直しや改善等の経過） 美術展や写真展のＵ―３０奨励賞を継続し、引き続き若年層の参加促進を図った。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けたが、美術展、写真展については、規模を縮小しながらも、感染対策を行い実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者を対象に 文化祭：学区文化団体及び芸術文化団体を対象に
目的(何のために)	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するために
手段(どのようなやり方で)	市展・写真展：公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,903	11,816	19,489	20,056	20,956	19,956	19,621
事業費	2,109	5,491	7,409	7,976	8,876	7,876	7,541
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,109	5,491	7,409	7,976	8,876	7,876	7,541
人件費計	4,794	6,325	12,080	12,080	12,080	12,080	12,080
事務・技術（人）	0.36	0.50	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.75	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0039
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-03-00	市展・文化祭・写真展等事業費	市民部文化・青少年課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	7,400.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00	11,700.00
		7,400.00	10,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)補助金交付団体数	団体	15.00	40.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		19.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)出品数	点	3,800.00	4,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		4,949.00	5,488.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入場者数	人	2,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00
		3,832.00	11,973.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民・事業者・市の三者協働により推進しており妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	美術展、写真展は感染症対策をしながら実施し、成果があった。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	文化連盟・芸術団体の知見やノウハウを活用し、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	成果を発表する場の提供は、文化・芸術の振興に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	引き続き、多くの市民に文化活動の成果を発表・鑑賞する場の提供を通じて、文化芸術の必要性の再確認を図り、関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図っていく。 また、令和５年度に開設する文化芸術情報サイトやＳＮＳを活用し、市民ニーズやトレンドを的確にとらえることで、特に若年層の文化芸術に対する興味関心を高めることを推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	美術展・写真展・文化祭は、実行委員会による運営で、文化連盟・芸術文化団体の知見やノウハウを活用しながら、効率的な手法や参加促進のための方策を取り入れ一定の成果がみられる。今後もより多くの市民が文化に親しめる場を提供できるよう、実行委員会で検討し事業の推進に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	7,400.00 7,400.00	11,700.00 10,400.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00
	指標説明	市展・写真展、文化祭に係る要項、ポスターの配布数						
(活動)補助金交付団体数	団体	15.00 19.00	40.00 29.00	48.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	文化祭開催に対する補助金交付団体数（文化祭実行委員会、芸術団体、地域文化団体）						
(成果)出品数	点	3,800.00 4,949.00	4,500.00 5,488.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭（短歌・俳句大会、湖都の文学）への出品数						
(成果)入場者数	人	2,000.00 3,832.00	14,000.00 11,973.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭への入場者数（令和３年度以降は学区・芸術団体の文化祭を含む）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0040				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	細川　力男
所属	1119	市民部文化振興課		記入者	椚座　大介
事務事業番号	00772	文化施設管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	004　文化施設管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市スカイプラザ浜大津条例、大津市民会館条例、大津市伝統芸能会館条例				
事業概要	（事業概要） 伝統芸能をはじめ、芸術性の高い発表や鑑賞ができ、また音楽・演劇その他市民の文化芸術活動の練習、発表の場となる拠点施設として、市民にとって幅広く利用できる施設となるよう、指定管理者とともに管理運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 音楽、演劇など市民の文化芸術活動の拠点施設として気軽に利用できるため、年々、ニーズは高まっている。社会環境の変化に対応しながら、文化・芸術に親しめる環境の提供が求められている。 （見直しや改善等の経過） 可能な限り利用者の要望に対応できるよう工夫することや、回遊型コラボレーション事業、施設の特徴を活かした自主事業の実施を指定管理者に求めた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	利用者を対象に
目的（何のために）	多彩な文化活動を支援し、市民が文化芸術に触れる機会を創出し、誰もが文化芸術に親しめる場を作るために
手段（どのようなやり方で）	効率的な自主事業を推進するとともに、施設の適切な維持管理を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	多くの市民や文化芸術団体の活動が促進され、市民文化の向上が図られる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	19,705	94,878	96,828	96,887	97,052	97,052	97,052
事業費	18,393	92,078	91,388	91,447	91,612	91,612	91,612
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	18,393	92,078	91,388	91,447	91,612	91,612	91,612
人件費計	1,312	2,800	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440
事務・技術（人）	0.16	0.35	0.68	0.68	0.68	0.68	0.68
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0040
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00772　文化施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-05-00	文化施設管理運営事業費	市民部文化・青少年課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)利用件数	件	261.00	8,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00
		268.00	10,780.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)利用者数	人	18.00	100,000.00	150,000.00	170,000.00	190,000.00	200,000.00	210,000.00
		7.00	126,045.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設利用率	%	6,300.00	50.00	50.00	52.00	54.00	56.00	58.00
		6,160.00	46.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)来場者数　対令和２年度比	倍	2,000.00	1.20	1.81	2.05	2.29	2.41	2.53
		244.00	1.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	指定管理者による管理運営は事業面、コスト面からも妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	利用者数は回復傾向にあり、市民に幅広く利用されている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者の民間のノウハウを活用した管理運営がされている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	多様な文化芸術活動・交流の場として、文化振興に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	今後も、自主事業の充実、利用者の増加や市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となるよう指定管理者と連携するとともに、市民の文化活動を幅広く支援できるよう、各施設の特徴を活かし、状況に応じた対応を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な運営により、多くの市民が親しめる文化芸術活動の拠点となっている。引き続き各施設の特徴を活かし、他の文化施設とも連携を図るなど、魅力ある自主事業を検討、実施し、市民の文化交流が促進されるよう努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00772　文化施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)利用件数	件	261.00 268.00	8,000.00 10,780.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00
	指標説明	利用日数　／令和２年度以前は、スカイプラザ浜大津の利用日数を指標としていたが、令和３年度からは事業統合のため、３施設の利用件数の合計とする。						
(活動)利用者数	人	18.00 7.00	100,000.00 126,045.00	150,000.00 0.00	170,000.00 0.00	190,000.00 0.00	200,000.00 0.00	210,000.00 0.00
	指標説明	自主事業開催数（共催も含む）　／令和２年度以前はスカイプラザ浜大津の自主事業開催数としていたが、令和３年度からは事業統合のため、指定管理３施設の利用者数の合計とする。						
(成果)施設利用率	%	6,300.00 6,160.00	50.00 46.70	50.00 0.00	52.00 0.00	54.00 0.00	56.00 0.00	58.00 0.00
	指標説明	スタジオ等利用件数　／令和２年度以前は、スカイプラザ浜大津のスタジオ等利用件数としていたが、令和３年度からは事業統合のため、３施設の施設利用率の平均とする。						
(成果)来場者数　対令和２年度比	倍	2,000.00 244.00	1.20 1.52	1.81 0.00	2.05 0.00	2.29 0.00	2.41 0.00	2.53 0.00
	指標説明	事業参加者数　／令和２年度以前は、スカイプラザ浜大津の自主事業参加者数としていたが、令和３年度からは事業統合のため、３施設の来場者数合計の対令和２年度比とする。						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0041				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	細川　力男
所属	1119	市民部文化振興課		記入者	椚座　大介
事務事業番号	00778	文化振興事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	007　文化振興事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 「大津市文化振興計画」に基づき、文化振興の推進を図るため、文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会を提供する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 核家族化、共働き世帯の増加、高度情報化により、働く世代や子ども・若者の文化活動への参加が難しくなってきている。また、社会環境の変化に対応した文化活動への支援が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度より文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会の提供に努めた。また、小中学生とその保護者を対象に「おおつ伝統文化親子教室」を開催し、伝統文化に触れる機会を創出した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民や文化団体等を対象に
目的（何のために）	文化活動を支援するために
手段（どのようなやり方で）	文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	自主的な文化活動が促進されるとともに、市民にとって身近な鑑賞機会が提供される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	6,846	14,964	20,406	25,906	21,906	21,906	25,060
事業費	1,716	6,747	8,830	14,330	10,330	10,330	13,484
国庫支出金	0	2,846	5,799	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	301	0	0	0	0
一般財源	1,715	3,900	2,730	14,330	10,330	10,330	13,484
人件費計	5,130	8,217	11,576	11,576	11,576	11,576	11,576
事務・技術（人）	0.30	0.69	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.87	0.87	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0041
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00778　文化振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-01-00	文化振興事業費	市民部文化・青少年課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)共催・補助事業数	事業	4.00 4.00	4.00 4.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00 78.00	120.00 93.00	120.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	19,000.00 10,356.00	20,000.00 4,341.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	40,000.00 33,552.00	50,000.00 102,604.00	105,000.00 0.00	110,000.00 0.00	120,000.00 0.00	130,000.00 0.00	150,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が支援することで、市民の文化活動が活性化している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	後援や共催で支援することで、文化活動の裾野を広げている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	後援等による側面的支援を行い、市民の文化活動を促進している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	文化活動が活性化し、身近が文化に触れる機会が創出されている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	「第３次大津市文化振興計画」に基づき、市民や文化団体の自主的な文化芸術活動を促進し、誰もが身近に文化・芸術に親しめる機会を創出する。文化芸術活動を行う人材や活動を支える人材の育成及び支援を推進することで、その活躍の場を広げるとともに、次世代を担う子どもや若者が身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させることにより、市民の文化芸術活動を将来にわたって支えていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市民や文化団体等による文化芸術活動への支援や、歴史的、文化的資産を活用した施策との連携など、「第３次大津市文化振興計画」に基づき、総合的な文化行政の推進に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00778　文化振興事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)共催・補助事業数	事業	4.00 4.00	4.00 4.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	文化活動等に対する共催・補助事業数						
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00 78.00	120.00 93.00	120.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用承認数（及び賞を交付した件数）						
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	19,000.00 10,356.00	20,000.00 4,341.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
	指標説明	補助した団体等が行っている文化活動（催し等）の参加者数						
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	40,000.00 33,552.00	50,000.00 102,604.00	105,000.00 0.00	110,000.00 0.00	120,000.00 0.00	130,000.00 0.00	150,000.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用を承認した催し等の入場者数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0042				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	細川　力男
所属	1125	市民部市民文化会館		記入者	木津　勝
事務事業番号	00773	市民文化会館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	005　市民文化会館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例				
事業概要	（事業概要） 市民が安全かつ快適に文化活動ができるよう、施設の管理運営等を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の影響の中ではあるが、市民や団体による芸術文化活動（ダンス・書道・絵画等）などの自発的活動の場が求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成３０年度から新電力に変更するなど、光熱水費の削減に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び各種文化団体・サークル等に
目的(何のために)	文化活動の場を提供するため
手段(どのようなやり方で)	安全かつ快適な環境で文化活動ができるように、施設の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動をより活発にする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,954	25,203	28,072	38,564	27,893	27,699	27,198
事業費	8,926	9,166	10,715	21,207	10,536	10,342	9,841
国庫支出金	0	40	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,120	3,791	3,909	3,909	3,909	3,909	3,909
一般財源	6,806	5,335	6,806	17,298	6,627	6,433	5,932
人件費計	16,028	16,037	17,357	17,357	17,357	17,357	17,357
事務・技術（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	1.00	1.00	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0042
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-10-00	市民文化会館管理運営事業費	市民部市民文化会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)貸室利用件数	件数	700.00 434.00	700.00 767.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00 62.00	100.00 109.57	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	ダンスや書道・音楽など、市民の多様な文化活動を支えている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	文化活動の利用が減少が回復しつつある。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	会計年度任用職員で日常の運営を行なっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の自発的な文化活動を支える施設として利用されている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和３年度は前年度より利用者が増えたものの、緊急事態宣言発令に伴いキャンセルが相次いだため、稼働率が低下したほか、年間を通じて新型コロナウイルス感染症感染拡大前の平成３０年度の水準には至っていない。今後は本格的な市民の文化活動の再開にむけ、利用しやすい環境を維持し、さまざまな活動に貢献できるように努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	多目的ホールを中心に、市民の多様な文化活動を支える施設として定着しており、特にダンスなどの活動では、市民の健康維持にもつながっている。また、令和２年７月からレストランがリニューアルしており、今後も幅広い世代の様々な活動の場となるよう、施設の維持及び運営管理に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)貸室利用件数	件数	700.00 434.00	700.00 767.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数（延べ件数）						
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00 62.00	100.00 109.57	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	貸室利用件数（実績）÷貸室利用件数（目標）						

IP27P050

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0043				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	平石　誠二
所属	1126	市民部長等創作展示館		記入者	西辻　崇志
事務事業番号	00771	長等創作展示館維持管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	003　長等創作展示館維持管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市創作展示館条例				
事業概要	（事業概要） 長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸作品を鑑賞及び創作する場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、創作展示館を運営する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化の中で地域文化の担い手の育成や情報化の進展に対応した取組が求められている。 （見直しや改善等の経過） 創作室においては活動中の絵手紙、水墨画、水彩画、陶芸の創作グループによる合同作品展を開催し、展示室においては定期的に絵画の展示替えを行っているほか、他の文化施設等と連携することなどにより周知と誘客に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民等来館者を対象に
目的（何のために）	主体的に文化に触れ、学び、創作する場や機会を提供し、湖都文化の発展や理解進展に寄与するため
手段（どのようなやり方で）	作品展や絵画展等の企画展を随時開催するとともに、多様な広報や近隣施設等との連携を図り、市民等に美術工芸作品に関わる鑑賞及び創作する場や機会を提供することにより
成果（どのような状態にするのか）	市民等の心豊かで潤いのある生活、個性豊かで活力ある地域社会の創造を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	28,815	25,841	28,233	27,908	28,375	28,001	29,973
事業費	3,902	4,085	3,405	3,080	3,547	3,173	5,145
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,621	2,548	1,900	1,900	1,900	2,200	1,900
一般財源	2,281	1,537	1,505	1,180	1,647	973	3,245
人件費計	24,913	21,756	24,828	24,828	24,828	24,828	24,828
事務・技術（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務（人）	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
再任用（人）	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	1.76	2.76	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0043
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-01-00	長等創作展示館管理運営事業費	市民部長等創作展示館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)企画展等開催数	回	3.00	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)貸室使用件数	件	120.00	120.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		146.00	194.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,500.00	2,000.00
		1,640.00	1,424.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)貸室使用者数	人	2,000.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		2,598.00	3,024.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民等の文化芸術に親しめる環境づくりに寄与している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	貸室使用者数が目標値を上回り、一定の成果がみられた。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	企画展や館運営に職員間で最少経費で創意工夫を重ねている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	文化芸術に親しみ、地域文化を育む役割を一定果たしている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	多様な広報手段による情報発信を推進すること、近隣の文化施設等と協働して回遊性を高めること、児童生徒や学生等の学びの場としての活用などにより、当館の一層の周知と来館者増に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	歴史文化の保存と活用を踏まえた一体的なまちづくりを推進するため、令和４年度に文化財保護行政と歴史博物館の業務を市長部局に移管したことを踏まえ、歴史博物館等の文化施設や三井寺等の社寺など近隣文化・観光施設と連携・協力の上、事業展開を図るなど、当館の更なる利用周知を図っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)企画展等開催数	回	3.00 3.00	2.00 2.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	展示室での企画展開催数						
(活動)貸室使用件数	件	120.00 146.00	120.00 194.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	創作スペースの使用件数(陶芸グループを２班体制としたことによる増)						
(成果)入館者数	人	2,000.00 1,640.00	2,000.00 1,424.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,500.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	美術館への入館者数（コロナ禍による減）						
(成果)貸室使用者数	人	2,000.00 2,598.00	2,500.00 3,024.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	創作スペースの貸室使用者数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0044				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	馬場　仁
所属	8821	市民部仰木太鼓会館		記入者	馬場　仁
事務事業番号	00775	仰木太鼓会館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	009　仰木太鼓会館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市仰木太鼓会館条例				
事業概要	（事業概要） 仰木太鼓会館は、大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 時代の変遷により若者達から太鼓離れの様子が見られるなか、市指定無形民族文化財である仰木太鼓を市の文化財として保存継承すべきとの気運が高い。 （見直しや改善等の経過） 仰木太鼓保存会に関する利用を優先しつつ、住民の福祉向上に寄与する利用など、会館利用の広報活動を行い、利用率の向上に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場を提供するために
手段（どのようなやり方で）	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習等のための場所を提供することで
成果（どのような状態にするのか）	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,050	4,097	3,926	5,246	3,946	3,946	3,946
事業費	2,206	2,277	2,106	3,426	2,126	2,126	2,126
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	71	54	50	70	70	70	70
一般財源	2,135	2,223	2,056	3,356	2,056	2,056	2,056
人件費計	1,844	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820
事務・技術（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0044
評価年度　令和 3年度　　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-20-00	仰木太鼓会館管理運営事業費	市民部仰木太鼓会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)施設利用件数	件	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		132.00	109.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設利用人数	人	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
		3,078.00	2,914.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用件数率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		66.00	54.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用人数率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		43.90	41.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	郷土文化を伝承する太鼓保存会が当館を管理するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	保存会の活動により住民集会等利用拡大と交流促進が達成される			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保存会のみが仰木太鼓の保存と継承において経験・知識を有する			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域文化の拠点、地域住民のふれあいの場として機能している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	大津市無形民族文化財である仰木太鼓の保存と活用を推進するために仰木太鼓保存会との連携を図るとともに、地域住民の利用を促進するため、地域関係団体への積極的な広報活動を通じて、会館利用率の向上を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	伝統文化の承継を担う仰木太鼓保存会との協力体制を継続し、地域住民の目的多様化に応じた利用促進を図り、広く「仰木太鼓」に触れる機会を提供されるべく、施設の適正な管理運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)施設利用件数	件	200.00 132.00	200.00 109.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）						
(活動)施設利用人数	人	7,000.00 3,078.00	7,000.00 2,914.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）						
(成果)年間利用件数率	%	100.00 66.00	100.00 54.50	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）÷年間利用件数（目標）×１００						
(成果)年間利用人数率	%	100.00 43.90	100.00 41.62	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）÷年間利用人数（目標）×１００						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0045				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	森嵜隆之
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	和田光生
事務事業番号	00792	文化財保存修理等補助事業			

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007 悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017 歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	001 歴史・文化遺産の保全				
事務事業	002 文化財保存修理等補助事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護条例、補助金等交付規則				
事業概要	(事業概要) 市内に残されている国・県・市指定文化財の保存修理等を行う場合に補助金を交付することで、所有者の負担軽減により保存修理等の促進をはかり、貴重な文化財を良好な状態で後世に継承する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市内には多数の文化財が残されており、計画的に保存修理等していく必要がある。近年は、文化財をまちづくりや地域振興、観光などに活用することが期待されており、文化財を適切に保存継承していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 指定文化財の保存修理や防火対策等については、所有者への意向調査や情報提供を行い、丁寧な相談に応じながら、補助事業の採択へとつなげている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に残る国・県・市指定文化財を対象に
目的(何のために)	文化財保存にあたって、所有者の経済的負担の軽減によって保存修理等の促進をはかるため
手段(どのようなやり方で)	修理及び管理に要する経費の一部を補助し
成果(どのような状態にするのか)	貴重な文化財を良好な状態で後世に継承する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	44,854	49,057	43,694	54,257	53,857	53,857	53,857
事業費	35,716	41,492	35,329	44,652	44,252	44,252	44,252
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	35,716	41,492	35,329	44,652	44,252	44,252	44,252
人件費計	9,138	7,565	8,365	9,605	9,605	9,605	9,605
事務・技術（人）	0.70	0.60	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.55	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
会計年度任用（人）	0.05	0.05	0.05	0.45	0.45	0.45	0.45
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0045
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　00792　文化財保存修理等補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-39-00-03-00	文化財保存修理等補助事業費	教育委員会文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助件数	件	55.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		58.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)補助申請件数	件	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		59.00	63.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)補助事業として修理等を実施した文化財の件数の累計	件	175.00	190.00	200.00	210.00	220.00	230.00	240.00
		187.00	195.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)補助採択件数	件	65.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		58.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	所有者の経費負担の軽減を図り、文化財の保存を促進できる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	補助事業を活用し、確実に指定文化財の保存修理がすすんでいる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	所有者からの修理等の要望に応え、必要な時期に補助金を交付する			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	文化財の保存修理を計画的に進めている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	先人たちの絶え間ない努力により、守り伝えられてきた文化財を次世代へ継承していくためには、文化財の計画的な保存修理と日常的な維持管理が欠かせない。所有者の意向を踏まえながら、文化財を適切に保存修理できるよう、引き続き補助事業を進めていくこと。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	貴重な文化財を良好な状態で後世に継承するため、文化財を適切に保存・修理するにあたって、所有者の経済的負担の軽減によって保存修理等の促進をはかるため、国・県との調整を取りながら、効果的に事業を進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00792　文化財保存修理等補助事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助件数	件	55.00 58.00	60.00 60.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	単年度あたりの指定文化財修理・管理等に対する補助件数						
(活動)補助申請件数	件	70.00 59.00	70.00 63.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	単年度あたりの指定文化財の修理・管理等に対する補助申請件数　※平成３０年度事後評価から適用						
(成果)補助事業として修理等を実施した文化財の件数の累計	件	175.00 187.00	190.00 195.00	200.00 0.00	210.00 0.00	220.00 0.00	230.00 0.00	240.00 0.00
	指標説明	保存修理等を実施した文化財の件数（累計）						
(成果)補助採択件数	件	65.00 58.00	60.00 60.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	保存・管理等の補助採択件数　※平成３０年度事後評価から適用						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0046				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	森嵜隆之
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	福田敬
事務事業番号	00796	市内史跡等整備事業			

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画　第2期実行計画			
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します			
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信			
取組の方向性	001	歴史・文化遺産の保全			
事務事業	005	市内史跡等整備事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	文化財保護法				
事業概要	（事業概要） 市内に残された史跡を公有化し、保存する。また、史跡公園として整備し、一般に公開することにより、市民の史跡に対する理解を深め、地域のまちづくり等にも活用する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 本市には多くの国指定史跡があり、保存のため公有化が必要な面積も大きい。また、指定に至っていない重要な土地も残されており、発掘調査の結果、所有者の同意を得て、追加指定を進めていく。 （見直しや改善等の経過） 限られた予算の範囲内で、優先順位をつけて公有化を進めている。 市街化区域ですでに宅地化されているところもあり、計画的に公有化を進めていく必要がある。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市内に残された史跡等を対象に
目的（何のために）	市内に残された史跡等を良好な形で守り伝えていくため
手段（どのようなやり方で）	土地の公有化と整備を進めることで
成果（どのような状態にするのか）	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	52,163	48,313	58,587	58,587	58,587	58,587	58,587
事業費	47,910	43,398	53,272	53,272	53,272	53,272	53,272
国庫支出金	38,280	34,543	42,468	42,468	42,468	42,468	42,468
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,630	8,855	10,804	10,804	10,804	10,804	10,804
人件費計	4,253	4,915	5,315	5,315	5,315	5,315	5,315
事務・技術（人）	0.50	0.45	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0046
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-57-00-04-00	市内史跡等整備事業費	教育委員会文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	500.00 961.00	700.00 891.00	700.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	59.00 59.00	60.00 60.80	61.00 0.00	62.00 0.00	63.00 0.00	64.00 0.00	65.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国指定史跡の公有化は、史跡を適切に保存し、後世へ継承できる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	継続的に国指定史跡の公有化が進められている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	土地所有者との交渉を進め、計画的に公有化を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	計画的に公有化を図り、できるだけ早く史跡公園としての整備に着手できるよう努める。 また、公有化で一定のまとまりが確保できた土地については、情報発信や部分整備など活用方法を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市内に残された史跡等を適切に保存し、良好な形で次世代へ継承していくため、計画的に公有化を図る。また、史跡の歴史的価値を発信し、地域振興や観光などに活用していくため、史跡公園等の整備についても検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	500.00 961.00	700.00 891.00	700.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	当該年度の公有化予定地全体の公有化（Ｒ２年度から公有化対象史跡全体に変更）						
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	59.00 59.00	60.00 60.80	61.00 0.00	62.00 0.00	63.00 0.00	64.00 0.00	65.00 0.00
	指標説明	史跡全体に占める公有化率（Ｒ２年度から全体対象史跡面積８９，９０２．７１㎡に変更）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0047				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	森嵜隆之
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	森嵜隆之
事務事業番号	00798	埋蔵文化財調査センター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画　第2期実行計画			
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します			
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信			
取組の方向性	002	歴史・文化遺産の情報発信			
事務事業	005	埋蔵文化財調査センター管理運営事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財調査センター条例				
事業概要	（事業概要） 文化財保護法の規定に基づき、市内で実施した発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保管するとともに、市民の埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めるため、各種講座、現地見学会や展覧会を開催する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 宅地開発等に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品は増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。 発掘調査の出土品は、当館だけでなく、市内小学校の空き教室などにも収蔵している。 （見直しや改善等の経過） 多くの市民に当館事業を知ってもらうため、催し物案内や広報おおつ等で周知に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	埋蔵文化財及び市民を対象に
目的（何のために）	埋蔵文化財の適切な保管とともに、埋蔵文化財への理解を深めるために
手段（どのようなやり方で）	埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座、現地見学会や展覧会を開催し
成果（どのような状態にするのか）	多くの市民が当館を訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,190	23,124	50,449	23,628	23,628	43,828	21,201
事業費	4,498	5,469	32,794	5,973	5,973	26,173	3,546
国庫支出金	0	0	27,800	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	76	152	88	0	0	0	0
一般財源	4,422	5,317	4,906	5,973	5,973	26,173	3,546
人件費計	12,692	17,655	17,655	17,655	17,655	17,655	17,655
事務・技術（人）	0.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	3.60	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0047
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-57-00-06-00	埋蔵文化財調査センター管理運営事業費	教育委員会文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00 18.00	14.00 16.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
(成果)参加・利用者数	人	1,500.00 1,713.00	1,800.00 1,151.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00 9.00	8.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種講座や展示会の開催、発掘調査報告書により情報発信している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学芸員による体験談や実物の埋蔵物の説明は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	埋蔵文化財を適切に整理・保管して、次世代に継承する			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	埋蔵文化財発掘調査の出土品を適切に保管できるよう努める。 発掘調査後の迅速な整理、報告や公開を継続し、歴史・文化の学習機会の充実を図っていく。その際には、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、多くの市民に文化財への理解を深めてもらえるよう、わかりやすい展示や説明に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座、現地見学会や展覧会を開催し、より多くの市民が当センターを訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深める機会の拡充に努めること。なお、不足している出土遺物の保管場所の確保について検討すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00 18.00	14.00 16.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	最新の調査成果の発表						
(成果)参加・利用者数	人	1,500.00 1,713.00	1,800.00 1,151.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00
	指標説明	講座・現地見学会・展覧会等への参加・利用者数						
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00 9.00	8.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	保存・活用の基礎となる発掘調査報告書の発刊数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0048				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	森嵜隆之
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	福田　敬
事務事業番号	02076	伝統的建造物群保存対策推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	018　古都にふさわしい景観づくり				
取組の方向性	001　次代に引き継ぐ景観づくり				
事務事業	004　伝統的建造物群保存対策推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護法、伝統的建造物群保存地区保存条例、補助金等交付規則				
事業概要	（事業概要） 坂本伝建地区は、平成９年１０月３１日付けで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。「穴太衆積み」で知られる石積みや土塀・生垣の門構えの景観にその特徴をもつ。主屋が道路から後退して建てられており、その景観は、門・石垣・土塀・生垣と塀や垣越に垣間見られる庭木や主屋が重層的に複合した外観を形成している。この景観を整備し、坂本らしいまちづくりを進めていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 本事業は文化財保護法の規定に基づく「伝統的建造物群保存地区」の保存事業として取り組んでいるが、町並み保存を含めた景観整備及び観光資源としての活用は、市政全体の重要課題である。 （見直しや改善等の経過） 補助事業の採択にあたっては、老朽化の度合に基づく優先順位と、より効果が認められる対象（目立つ場所に所在する修理・修景）を選択しながら実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	伝統的建造物群保存地区内の建造物群等を対象に
目的（何のために）	坂本地区の景観整備のために
手段（どのようなやり方で）	補助金を交付すること等により
成果（どのような状態にするのか）	伝統的建造物群を保全し、地域の特色ある景観の整備が進む

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	6,049	11,419	9,294	19,478	14,151	14,151	14,151
事業費	2,206	8,064	5,539	15,723	10,396	10,396	10,396
国庫支出金	1,078	3,886	2,619	5,000	5,000	5,000	5,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,128	4,178	2,920	10,723	5,396	5,396	5,396
人件費計	3,843	3,355	3,755	3,755	3,755	3,755	3,755
事務・技術（人）	0.45	0.40	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

整理番号　0048
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　02076　伝統的建造物群保存対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-39-00-01-00	伝統的建造物群保存対策推進事業費	教育委員会文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)保存地区内の建造物等の修理修景（対象２９３件）	件	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
(成果)修理修景事業の進捗	%	32.40 30.00	30.70 30.30	31.40 0.00	32.08 0.00	32.70 0.00	33.40 0.00	34.10 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地区住民・所有者の理解と協力により、国庫補助事業を推進する			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	地区内の修理修景事業が着実に進み、町並みが保存されている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	所有者の事業申出から採択・実施まで、効率よく進められている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	修理修景事業を実施し、古都の風格ある町並が保存できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	地区住民や所有者等の理解と協力を得ながら、坂本の伝統的な町並みの保存を図る。 今後とも、所有者の意向調査をもとに、効果的な補助事業の実施に向けて、所有者との丁寧な相談に応じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	伝統的建造物群を保全し、坂本地区の特色ある景観を整備し、良好な状態で後世に継承していくため、地区住民や所有者と十分協議しながら、計画的に事業を進めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02076　伝統的建造物群保存対策推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)保存地区内の建造物等の修理修景（対象２９３件）	件	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	伝建地区内における修理・修景事業に対して補助						
(成果)修理修景事業の進捗	%	32.40 30.00	30.70 30.30	31.40 0.00	32.08 0.00	32.70 0.00	33.40 0.00	34.10 0.00
	指標説明	伝建地区内の対象物件に対する修理・修景済の割合						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0049				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	森嵜隆之
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	和田光生
事務事業番号	02387	文化財指定推進事業			

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007 悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017 歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	001 歴史・文化遺産の保全				
事務事業	001 文化財指定推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護条例				
事業概要	(事業概要) 市内に残る数多くの歴史文化遺産を後世に継承していくため、その調査・研究をすすめ、文化財専門委員会への諮問・答申を経て、市指定文化財に指定する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人口減少や生活様式等の社会状況の変化を背景に、貴重な文化財が滅失・散逸等の危機に瀕している。 文化財を後世に継承していくためには、速やかにその実態を把握し、調査や研究を行っていく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 学識経験者で構成する文化財専門委員会での学術的な検証を行い、地域における文化財の価値を明確にしたうえで、指定文化財に指定していく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に残る歴史文化遺産を対象に
目的(何のために)	市内に残る歴史文化遺産を良好な形で後世に継承していくため
手段(どのようなやり方で)	文化財専門委員会の学術的検証を経て、市指定文化財に指定し、
成果(どのような状態にするのか)	本市の豊かな歴史と文化を内外に紹介し、文化財への理解を深めて、文化財保護を推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	1,641	3,627	3,718	3,737	3,737	3,737	3,737
事業費	1	132	223	242	242	242	242
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1	132	223	242	242	242	242
人件費計	1,640	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
会計年度任用（人）	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0049
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　02387　文化財指定推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-50-57-00-03-00	文化財指定推進事業費	教育委員会文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)新指定文化財の件数	件	2.00 0.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
(成果)市内に所在する指定文化財の件数	件	545.00 543.00	545.00 545.00	547.00 0.00	547.00 0.00	549.00 0.00	549.00 0.00	551.00 0.00
(成果)大津市指定文化財件数（累計）	件	141.00 126.00	128.00 126.00	130.00 0.00	130.00 0.00	132.00 0.00	132.00 0.00	134.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	文化財に指定することで、価値付けが明確になり、保護がしやすい			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標はほぼ達しており、文化財の指定件数は増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	文化財専門委員会による検証により、文化財の評価を明確にする			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	豊かな文化財を後世に継承していくためには有効な事業である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市の国指定等文化財の件数は、京都市、奈良市に次いで、全国第３位を数える。その一方で、文化財に指定されていないが、長年にわたり大切に守り続けられてきた貴重な歴史文化遺産も数多く存在する。 これら多くの歴史文化遺産の調査を進め、市指定文化財に指定し、保護を図ることで後世に継承していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市内に残る歴史文化遺産を良好な形で後世に継承していくため、未指定の文化財について、文化財保護審議会による学術的検証を経て、文化財に指定し、適正に保護・管理していくとともに、地域振興や観光などへの活用に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02387　文化財指定推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)新指定文化財の件数	件	2.00 0.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	一年間で新たに指定した文化財件数						
(成果)市内に所在する指定文化財の件数	件	545.00 543.00	545.00 545.00	547.00 0.00	547.00 0.00	549.00 0.00	549.00 0.00	551.00 0.00
	指標説明	市内に所在する国・県・市指定文化財の総件数						
(成果)大津市指定文化財件数（累計）	件	141.00 126.00	128.00 126.00	130.00 0.00	130.00 0.00	132.00 0.00	132.00 0.00	134.00 0.00
	指標説明	市指定文化財の総件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0050
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了　所属長名　足立　寿通
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　土井　淳嗣
事務事業番号　00837　体育団体等活動助成事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	002　競技スポーツの推進				
事務事業	002　体育団体等活動助成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	（事業概要） 生涯にわたり健康で活力ある生活を維持するため、生活にスポーツやレクリエーション活動を取り入れるよう、各種体育団体の活動を支援することにより、生涯スポーツの振興を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの大会や事業の開催が困難となった中、市民ニーズや地域の実情に応じたスポーツ施策の展開が求められている。 （見直しや改善等の経過） 大津市補助金制度適正化基本方針に則った補助金の見直し及び大津市スポーツ協会への委託事業を共催化し、負担金事業への移行などを行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各種体育団体（１．市内３６学区体育団体　２．大津市スポーツ協会　３．大津市スポーツ少年団　４．大津市レクリエ―ション協会　５．大津市学区体育団体連絡協議会）を対象に
目的(何のために)	各種体育団体によってスポーツ事業が活発に展開されるために
手段(どのようなやり方で)	運営補助金、事業補助金の交付、事業の共催開催をすることで
成果(どのような状態にするのか)	各種スポーツの振興及び生涯スポーツやレクリエーション事業の普及を通じて健康の保持増進を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	9,511	10,923	13,371	15,765	13,765	13,765	14,565
事業費	7,677	10,337	12,571	14,965	12,965	12,965	13,765
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,677	10,337	12,571	14,965	12,965	12,965	13,765
人件費計	1,834	586	800	800	800	800	800
事務・技術（人）	0.22	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.01	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0050
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00837　体育団体等活動助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-26-00-01-00	体育団体等活動助成金	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成金対象団体	団体	5.00 5.00	5.00 5.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
(成果)助成団体活動事業数	事業	120.00 104.00	250.00 136.00	180.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域でのスポーツ活動の活性化が生涯スポーツの振興につながる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	感染症の影響により縮小したが、地域でのスポーツ振興に寄与した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域住民に身近な団体への補助を通じて効率的に実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域のニーズに合わせ参加しやすい事業を各種団体が実施している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症への対策に配慮しつつ、各団体が予算規模及び地域住民等のニーズに合わせて、スポーツ活動を効率的に展開できるよう支援し、生涯スポーツの推進に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各体育団体の事業は縮小傾向となった。今後は感染状況を踏まえながら、市民のスポーツ活動の活性化に向けた地域スポーツ活動が展開できるよう、学区体育団体等をはじめとした地域スポーツ活動の中心的役割を担う各種団体等に対し、継続的な支援を行っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00837　体育団体等活動助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成金対象団体	団体	5.00 5.00	5.00 5.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	市内３６学区体育団体、体育協会、スポーツ少年団、他２団体						
(成果)助成団体活動事業数	事業	120.00 104.00	250.00 136.00	180.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00	250.00 0.00
	指標説明	対象５団体が実施する事業の合計						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0051				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	大畑　公人
事務事業番号	00839	学校体育施設開放事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	003　学校体育施設開放事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法、昭和５１年文部事務次官通知				
事業概要	（事業概要） 近年、生活水準の向上や自由時間の増大により、スポーツ活動に対する市民の欲求が高まっており、この要請に応えるため、市立小学校３６校の体育館と運動場、また、市立中学校１０校の体育館を学校教育に支障のない範囲で開放している。 学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 学校体育施設は地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されている。スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等への参加も増えている。 （見直しや改善等の経過） Ｈ２９年度運営マニュアルの見直し。Ｈ３０年度運営委員会への委託料算定方法の見直し。 Ｒ２年度、様式等の改正を実施。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民のスポーツ活動を対象に
目的（何のために）	市民が日常生活において身近なスポーツ活動をするために
手段（どのようなやり方で）	各小中学校体育施設開放運営委員会に運営を委託して、学校体育施設を教育に支障のない範囲において開放することで
成果（どのような状態にするのか）	市民のスポーツ活動の充足、運動・スポーツ実施機会向上に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,036	19,325	18,306	19,606	21,206	21,606	21,606
事業費	10,544	13,925	13,376	14,676	14,676	14,676	14,676
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,763	3,156	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230
一般財源	7,781	10,769	10,146	11,446	11,446	11,446	11,446
人件費計	5,492	5,400	4,930	4,930	6,530	6,930	6,930
事務・技術（人）	0.52	0.52	0.50	0.50	0.70	0.75	0.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0051
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00839　学校体育施設開放事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-21-00-04-00	学校体育施設開放事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
（活動）小学校開放校	校	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
（活動）中学校開放校	校	10.00 10.00	10.00 10.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
（成果）小学校開放利用人数（運動場・体育館）	人	580,500.00 501,167.00	600,000.00 532,169.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00
（成果）中学校開放利用人数（体育館）	人	31,500.00 30,548.00	34,000.00 33,272.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	学校体育施設を市民のスポーツ活動に提供するのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の身近なスポーツ等の実施機会向上に寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域団体に運営委託し、実情に合った効率的な運営がされている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、断続的に学校開放を停止したにも関わらず、市民の利用は堅調に推移している。スポーツの普及、振興の施策目的を果たせており、今後も持続的に運営していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学校体育施設については、幅広い年代の市民が利用する身近なスポーツの場であることから施設の状況を踏まえた修繕等を実施し、これからもスポーツを楽しめる環境整備に努めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00839　学校体育施設開放事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
（活動）小学校開放校	校	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	市内３６小学校（葛川小を除く）を開放している						
（活動）中学校開放校	校	10.00 10.00	10.00 10.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	市内１８校の内１０校を開放している						
（成果）小学校開放利用人数（運動場・体育館）	人	580,500.00 501,167.00	600,000.00 532,169.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00	774,000.00 0.00
	指標説明	小学校開放の利用人数（運動場・体育館）						
（成果）中学校開放利用人数（体育館）	人	31,500.00 30,548.00	34,000.00 33,272.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00	42,000.00 0.00
	指標説明	中学校開放の利用人数（体育館）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0052				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	大畑　公人
事務事業番号	00840	社会体育施設管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	004　社会体育施設管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	(事業概要) 市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。 　平成１８年度より市民プール・大谷乗馬場について指定管理者制度を導入し、平成３０年度からは富士見市民温水プールについてＰＦＩ手法を活用し、運営している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 老朽施設が増える中、市の財政状況や公共施設マネジメント等を考慮し、利用者の要望に応えられるよう計画的な維持管理が求められる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、安心安全な施設運営が求められる。 (見直しや改善等の経過) 平成１８年から市民プール、大谷乗馬場に指定管理者制度導入。平成３０年１０月から大津市初となるＰＦＩ事業により富士見市民温水プールを開設。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会体育施設の管理運営を対象に
目的(何のために)	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るために
手段(どのようなやり方で)	指定管理施設については選定した指定管理者に、市民運動広場については、運営委員会に業務を委託することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができ、運動・スポーツ実施率の向上が図られ、健康の保持増進に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	200,411	202,935	185,003	195,831	195,738	198,739	200,393
事業費	189,505	192,295	173,403	186,631	185,338	186,739	186,793
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	36,219	48,876	44,526	44,526	44,526	44,526	44,526
一般財源	153,286	143,419	128,877	142,105	140,812	142,213	142,267
人件費計	10,906	10,640	11,600	9,200	10,400	12,000	13,600
事務・技術（人）	1.33	1.33	1.45	1.15	1.30	1.50	1.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0052
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-21-00-01-00	社会体育施設管理運営費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	320,000.00 300,378.00	340,000.00 314,544.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	社会体育施設を市民のスポーツ活動に提供するのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の身近なスポーツ等の実施機会向上に寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者等に委託し、実情に合った効率的な運営がされている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により施設を1ヶ月閉鎖したが、市民の利用は堅調に推移している。市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興及び健康の保持増進を図るため、引き続き施設の適切な維持管理、運営を行うとともに、市民が利用しやすい施設運営とコスト削減を両立させるため、今後も民間ノウハウを生かした運営方式の研究を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	社会体育施設については、施設の状況を踏まえ計画的な修繕や工事に努め、より効果的かつ効率的な運営ができるよう検討していくこと。また、指定管理者制度導入施設においては、指定管理者との連携を強化のうえ、利用者ニーズの把握に努め、利用者拡大、サービス向上に引き続き取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の施設の数						
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	320,000.00 300,378.00	340,000.00 314,544.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の利用者数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0053				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	00841	スポーツ推進委員設置事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	001　スポーツ推進委員設置事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法、大津市スポーツ推進委員に関する規則				
事業概要	（事業概要） スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整や住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う「大津市スポーツ推進委員」を委嘱している。地域でのスポーツ指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動するため、研修会などを開催し委員の資質向上を図っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スポーツ推進委員の役割は、スポーツに関する指導及び助言のみならず、事業実施に係る連絡調整として、重要性が増してきているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降は活動が制限される状況が続いている。 （見直しや改善等の経過） スポーツ推進委員の構成については、各学区の体育団体のみならず、総合型地域スポーツクラブ、大学、障害者スポーツ団体、プロスポーツチームからの推薦に加え、一般市民からの公募を行うなど、幅広い分野から参画をいただいている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会体育関係者（スポーツ推進委員等）を対象に
目的(何のために)	地域における生涯スポーツ振興をするために
手段(どのようなやり方で)	各種研修会への派遣やスポーツ指導者研修会、毎月１回の定例会を開催することで
成果(どのような状態にするのか)	社会体育関係者の資質を向上し、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うためスポーツコーディネーターを養成する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,738	6,644	7,127	7,099	7,061	7,026	7,038
事業費	4,458	4,324	4,487	4,459	4,421	4,386	4,398
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,458	4,324	4,487	4,459	4,421	4,386	4,398
人件費計	3,280	2,320	2,640	2,640	2,640	2,640	2,640
事務・技術（人）	0.40	0.29	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0053
評価年度　令和 3年度　　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00841　スポーツ推進委員設置事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-06-00	スポーツ推進委員設置費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)スポーツ推進委員及びスポーツ指導員の数	人	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業の数	回	9.00 6.00	11.00 7.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業への従事者数	人	225.00 135.00	275.00 116.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
(成果)各種研修会への参加者数	人	225.00 62.00	225.00 134.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	スポーツ推進委員はスポーツ基本法の規定により市が委嘱している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	研修などの実施により、スポーツ指導等の資質が向上する			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	定期的に研修等を実施することは効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域・大学・行政と連携し、地域のスポーツ振興に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	スポーツ推進委員は、地域におけるスポーツ技術の指導や助言のみならず、地域のスポーツ活動推進のコーディネーターの役割を担っている。今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員の資質向上のための指導者研修会開催や市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公的な社会体育指導者であるスポーツ推進委員は、市民が生涯スポーツ活動を実践するうえで、実技指導や助言を行うなど非常に重要な役割を担っている。新型コロナウイルス感染症によるさまざまな制限が解除される傾向にあるため、社会活動の再開状況を見極めながら、スポーツ推進委員の独自事業を進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00841　スポーツ推進委員設置事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)スポーツ推進委員及びスポーツ指導員の数	人	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	定数　スポーツ推進委員４６人						
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業の数	回	9.00 6.00	11.00 7.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催される主管事業の実施延べ回数						
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業への従事者数	人	225.00 135.00	275.00 116.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	主催及び主管事業へのスポーツ推進委員の従事者延べ人数						
(成果)各種研修会への参加者数	人	225.00 62.00	225.00 134.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00	225.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員の資質向上が図れる研修会への参加延べ人数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0054				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	大畑　公人
事務事業番号	00842	比良げんき村管理事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	005　比良げんき村管理事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立野外活動施設条例				
事業概要	（事業概要） 比良げんき村における野外活動を通じて、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民が手軽かつ安価に自然を楽しめるキャンプ場のニーズが高まっている。施設や遊具への安全性を求める意識が高まっている。 （見直しや改善等の経過） 平成１８年度指定管理者制度導入。平成２５年度に宿泊棟と人工登はん壁が県より移管。平成２７年度にプラネタリウム更新。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	利用者を対象に
目的（何のために）	豊かな自然を活かした野外活動施設のなかで、青少年の健全な育成と、市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るために
手段（どのようなやり方で）	指定管理者の民間のノウハウを活かした自然体験、環境学習の場の提供をすることで
成果（どのような状態にするのか）	青少年の健全な育成と、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加機会向上に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	21,922	20,666	18,868	20,468	19,468	17,468	21,468
事業費	20,282	19,066	17,828	19,428	18,428	16,428	20,428
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,282	19,066	17,828	19,428	18,428	16,428	20,428
人件費計	1,640	1,600	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0054
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00842　比良げんき村管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-75-00-01-00	比良げんき村管理事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)げんき村の利用日数	日	83.00 125.00	150.00 167.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
(活動)天体観測施設の開場日数	日	83.00 52.00	100.00 75.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)げんき村利用人数（キャンプ場）	人	4,583.00 4,001.00	5,000.00 5,290.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
(成果)天体観測施設の利用者数	人	1,250.00 616.00	1,250.00 1,169.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	野外活動施設をレクリエーション活動に提供するのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の身近なレクリエーションの実施機会向上に寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者により、民間ノウハウを活用した運営がされている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	指定管理者がホームページを充実するとともに関連施設でのビラ配布等の広報活動に努めたところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により１ヶ月閉鎖したにも関わらず、利用者は堅調に推移している。引き続き自然を生かした施設運営、維持管理を行い、事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	野外活動を通じて、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、施設の状況を踏まえた修繕等を実施すること。今後も指定管理者と連携しながら、施設を最大限に活かした自主事業などの展開とＰＲを図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00842　比良げんき村管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)げんき村の利用日数	日	83.00 125.00	150.00 167.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	キャンプ場利用があった日数。						
(活動)天体観測施設の開場日数	日	83.00 52.00	100.00 75.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	プラネタリウム、天体望遠鏡の利用があった日数。						
(成果)げんき村利用人数（キャンプ場）	人	4,583.00 4,001.00	5,000.00 5,290.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
	指標説明	指定管理者からの報告による。						
(成果)天体観測施設の利用者数	人	1,250.00 616.00	1,250.00 1,169.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00
	指標説明	指定管理者からの報告による。						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0055				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	00849	各種全国体育大会等共催負担及び補助事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	002　競技スポーツの推進				
事務事業	003　各種全国体育大会等共催負担及び補助事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	（事業概要） 市内で開催される各種全国大会等に補助（負担）金を交付し、選手の競技力向上や役員の競技運営力の向上を図るとともに、市民が各種全国大会に接することで、スポーツに対しての意義を体感・理解していただく機会とする。また、各大会が大津市内で継続して開催していけるよう、競技関係者や市民、市民団体等の理解や協力のもと事業を展開しＰＲ活動を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大規模な大会やイベントの開催が困難となった中で、市民のスポーツ意識の醸成や実施する機運を高めていくことが求められている。 （見直しや改善等の経過） びわ湖毎日マラソン大会については、令和2年度をもって終了となった。その他大会運営については前大会の反省点を共有し、次回大会に反映するなど、大会運営が円滑に行えるよう協議の上、実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で開催される全国大会等の事業を対象に
目的(何のために)	参加選手の競技力向上、スポーツを直接見る環境の充実や、スポーツを支える人の意識向上、市民へのスポーツ啓発、大津市のスポーツ環境を全国に啓発するために
手段(どのようなやり方で)	各実行委員会負担金や補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	市民のスポーツ意識の醸成や実施する機運を高めると共に、各大会を世界選手権やオリンピックの選考大会として開催できるよう支援し、併せて大津市の知名度を高める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,927	790	665	1,235	1,235	1,235	1,275
事業費	15,057	630	585	1,075	1,075	1,075	1,115
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,057	630	585	1,075	1,075	1,075	1,115
人件費計	2,870	160	80	160	160	160	160
事務・技術（人）	0.35	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0055
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00849　各種全国体育大会等共催負担及び補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-41-00-01-00	各種全国体育大会等共催負担及び補助事業費	市民部スポーツ課
01-10-05-61-41-00-10-00	全国大会開催支援事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)負担金、補助金等交付件数	件	3.00 2.00	5.00 1.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)参加者・参加チーム数	件	1,000.00 413.00	2,000.00 352.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	負担金・補助金を交付することにより各種全国大会等が身近になる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響で多くの大会が中止となった			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体等への事業補助及び実行委員会形式での実施は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	選手を身近で応援することで、スポーツへの意欲が高まる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の影響で、全国規模のスポーツイベントを開催することは困難であるが、制限の緩和を見据え、市民のスポーツに対する機運醸成を図り、大津市の知名度向上や、まちの賑わいづくりに寄与する、新たなスポーツイベントの開催などの検討を引き続き行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	全国規模の大会開催は、市民が全国レベルの競技を身近に体感できる大会として重要である。県や各種団体等と連携し、まちの賑わいづくりに繋がるような事業を検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00849　各種全国体育大会等共催負担及び補助事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)負担金、補助金等交付件数	件	3.00 2.00	5.00 1.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	交付している大会件数						
(成果)参加者・参加チーム数	件	1,000.00 413.00	2,000.00 352.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
	指標説明	交付大会への参加者・参加チーム数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0056				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	00851	市民体育大会等開催助成事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	002　競技スポーツの推進				
事務事業	004　市民体育大会等開催助成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	（事業概要） スポーツの祭典として多数の市民参加がある「市民体育大会（学区対抗・公開一般競技）」の実行委員会を組織し開催。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 国際大会や国スポ・障スポ大会等の大規模な大会が続く中、市民のスポーツに対する関心・機運は高まりつつあることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を念頭においたスポーツの機運醸成が必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 実行委員会にて実施内容等を見直し、平成２９年度をもって大運動会を廃止し、誰もが参加しやすいウォークラリーを実施。チャレンジ比良登山＆志賀ウォーキングは平成３０年度をもって廃止となった。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市民の健康・体力づくりに対する関心を高めるために
手段(どのようなやり方で)	市民体育大会を開催することで
成果(どのような状態にするのか)	市民の体力向上を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	371	425	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920
事業費	43	185	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	43	185	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960
人件費計	328	240	960	960	960	960	960
事務・技術（人）	0.04	0.03	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0056
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00851　市民体育大会等開催助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-04-00	市民体育大会等開催助成金	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)大津市民体育大会開催競技種目数	種目	0.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
(成果)大津市民体育大会　参加者数	人	0.00 0.00	3,000.00 0.00	3,600.00 0.00	3,700.00 0.00	3,800.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の健康・体力づくりのきっかけ、地域の活性化につながる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となった。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	主管する団体等の参加する実行委員会形式で実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の運動・スポーツへの意欲向上につながっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の対策をした上で大会開催を行うとともに、一般社団法人大津市スポーツ協会と連携し、より効果的な事業展開を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、社会活動の再開を見据え、一般社団法人大津市スポーツ協会と連携しながら、市民の健康体力づくりの向上に寄与できるような取組みの検討を進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00851　市民体育大会等開催助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)大津市民体育大会開催競技種目数	種目	0.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
	指標説明	大運動会（平成２９年度で終了）、卓球、バレー、バドミントン他						
(成果)大津市民体育大会　参加者数	人	0.00 0.00	3,000.00 0.00	3,600.00 0.00	3,700.00 0.00	3,800.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00
	指標説明	各競技参加者数の合計						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0057				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	00852	各種全国大会等出場激励事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	002　競技スポーツの推進				
事務事業	005　各種全国大会等出場激励事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	各種体育・スポーツ大会激励金交付要綱				
事業概要	（事業概要） 各種体育・スポーツ大会に出場する選手に対し激励金を交付し、本市の体育・スポーツの推進を図ることを目的とする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 滋賀県において、滋賀国スポ・障スポ開催に向けて、学校や地域団体と連携した強化拠点構築により選手を強化している。 （見直しや改善等の経過） 激励金の交付要綱について、平成３１年度に交付金額の変更や文言の整理等一部改正を行った。また、広報おおつへの掲載、ツイッター等ＳＮＳを活用した当該事業の周知ＰＲ活動を実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	国際・全国大会に出場する選手を対象に
目的（何のために）	競技力の向上と競技スポーツの推進を図るために
手段（どのようなやり方で）	激励金を交付することで
成果（どのような状態にするのか）	ハイレベルな競技大会への出場を促し、スポーツの活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	1,490	1,707	2,158	2,659	2,734	2,839	2,734
事業費	486	1,317	1,613	2,034	2,109	2,214	2,109
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	486	1,317	1,613	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	2,034	2,109	2,214	2,109
人件費計	1,004	390	545	625	625	625	625
事務・技術（人）	0.10	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.06	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0057
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00852　各種全国大会等出場激励事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-41-00-04-00	各種全国大会等出場激励金	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)激励金交付件数	件	40.00	80.00	100.00	105.00	110.00	115.00	115.00
		33.00	57.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入賞大会件数	件	2.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	出場選手に激励金を交付することは競技スポーツの普及につながる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症のため一部出場辞退や大会中止があった			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	競技者の意欲を高める上で激励金という手法は効果的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	選手の意欲が高まり、ひいては競技スポーツの振興につながる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の開催を見据えた上で、選手強化支援施策の一つとして継続的に実施していく必要があると考えられ、今後も市民周知に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	激励金は、市として選手の競技力向上や市民へのスポーツの関心を高める事業である。令和７年度に開催される国スポ・障スポ大会の開催に向け、多くの市民に広く周知し、大会への機運醸成を図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00852　各種全国大会等出場激励事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)激励金交付件数	件	40.00 33.00	80.00 57.00	100.00 0.00	105.00 0.00	110.00 0.00	115.00 0.00	115.00 0.00
	指標説明	激励金を交付した大会の件数						
(成果)入賞大会件数	件	2.00 5.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	出場した大会で３位以上の成績を収めた大会						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0058				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	01909	まちづくり健歩運動推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	002　まちづくり健歩運動推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	(事業概要) ウォーキングコースの紹介やウォーキングを活用したイベントの開催などを通じて、市民の健康増進や体力づくりのきっかけを提供し、市民の運動・スポーツ実施率の向上を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 直近の日本全国のスポーツ実施率は下降傾向がみられる。一方、滋賀県のスポーツ実施率について、平成２８年度までは下降傾向だったが、平成３０年度からは改善傾向がみられる。 (見直しや改善等の経過) 大津市スポーツ推進計画では市民総スポーツの機会づくりとして、ウォーキングの推進を図る中、「ＢＩＷＡ－ＴＥＫＵ」アプリと連携し、ウォーキングコース情報の紹介・発信を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	手軽に取り組めるウォーキングを推進するため
手段(どのようなやり方で)	ウォーキングイベントを開催することで
成果(どのような状態にするのか)	市民の週１回以上のウォーキングを含む運動・スポーツ実施率を６５％に引き上げる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	164	0	330	330	330	330	330
事業費	0	0	250	250	250	250	250
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	250	250	250	250	250
人件費計	164	0	80	80	80	80	80
事務・技術（人）	0.02	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0058
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　01909　まちづくり健歩運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-05-00	まちづくり健歩運動推進事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ウォーキングイベントの開催	回数	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
(活動)ウォーキング参加者数	人	0.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
(成果)運動・スポーツ実施率	パーセント	65.00 0.00	65.00 53.90	62.00 0.00	63.50 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	ウォーキングは市民にとって身近な運動手段である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	運動・スポーツ実施率は、わずかに上昇している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体等の事業への負担金支出により効率的に実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	ウォーキングの推進は市民の運動・スポーツのきっかけ作りになる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	おごと温泉・びわ湖パノラマウォーク等のウォーキングイベントへの支援を行うとともに、ウォーキングコースの紹介や発信を行っていくことで、市民の運動・スポーツのきっかけ作りを提供していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民の健康増進、体力づくりのきっかけを創出していくうえで、ウォーキングは気軽に取り組めるスポーツとして定着している。今後、市民がウォーキングに新たに取り組み、また、継続することができるような情報発信の手法等を研究するとともに、市民の運動意欲を向上させる方法を検討すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01909　まちづくり健歩運動推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ウォーキングイベントの開催	回数	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	ウォーキングイベントの開催回数						
(活動)ウォーキング参加者数	人	0.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
	指標説明	ウォーキングの参加者数						
(成果)運動・スポーツ実施率	パーセント	65.00 0.00	65.00 53.90	62.00 0.00	63.50 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00
	指標説明	市民（成人）の週１回以上のウォーキングを含む運動・スポーツ実施率						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0059				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	足立　寿通
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	03400	国際スポーツ大会等招致事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013　観光の振興				
取組の方向性	003　効果的な誘客の推進				
事務事業	001　国際スポーツ大会等招致事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	(事業概要) 国際スポーツ大会等の開催を契機に、チームキャンプ地等の招致活動やホストタウン事業の推進を通じて、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るなど、スポーツを通じた観光を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ２０１９ラグビーワールドカップ、東京２０２０オリ・パラ等の開催により、市民のスポーツに対する関心、機運は高まりつつあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業の推進に制限がある。 (見直しや改善等の経過) ｅスポーツイベントにおいてデンマーク王国の文化紹介及びボート元日本代表の指導によるVRでのボート体験ブースを設けた。またニュージーランドとホストタウン登録を行い、ボート代表チームのオリンピック事前合宿を受け入れた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	国際スポーツ大会への機運を高めるために
手段(どのようなやり方で)	国際スポーツ大会の啓発イベントの実施やホストタウン交流事業を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,558	10,868	2,228	4,028	2,678	1,028	17,558
事業費	1,900	2,486	1,188	2,188	1,238	388	11,238
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,900	2,486	1,188	2,188	1,238	388	11,238
人件費計	5,658	8,382	1,040	1,840	1,440	640	6,320
事務・技術（人）	0.69	1.04	0.13	0.23	0.18	0.08	0.79
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0059
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　03400　国際スポーツ大会等招致事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-46-00-02-00	国際スポーツ大会等招致事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)啓発イベント・交流事業の実施回数	回数	3.00 1.00	3.00 3.00	2.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)啓発イベント・交流事業の参加人数	人	1,500.00 221.00	500.00 538.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各ホストタウン相手国との交流が進んでいる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	直接的な交流は困難だが、スポーツに限らない関係性を構築できた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	実行委員会形式で実施しており、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民のスポーツへの関心を高めるきっかけになっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	国際スポーツ大会の周知・啓発を継続・推進していくことで、市民の国際スポーツ大会への関心・機運を高めていく。東京オリンピックのホストタウンであるデンマークとニュージーランドについて、県や関係団体等と連携しながら大会後も交流事業等を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	オリンピック終了後も、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、各国とイベント等を通して、可能な範囲で相互交流を継続できるよう検討を進めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　03400　国際スポーツ大会等招致事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)啓発イベント・交流事業の実施回数	回数	3.00 1.00	3.00 3.00	2.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	国際スポーツ大会の啓発イベント及びホストタウン交流事業の実施延べ回数						
(成果)啓発イベント・交流事業の参加人数	人	1,500.00 221.00	500.00 538.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	各事業の参加延べ人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0060				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	大塩　勲
所属	2454	市民部国スポ・障スポ大会推進室		記入者	倉井　剛
事務事業番号	04032	国民スポーツ大会開催事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	002　競技スポーツの推進				
事務事業	007　国民スポーツ大会開催事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法、国民体育大会開催基準要項				
事業概要	（事業概要） 令和７年に滋賀県で「第７９回国民スポーツ大会・第２４回全国障害者スポーツ大会」が開催される。本市では国民スポーツ大会は正式競技１１競技、特別競技１競技、デモンストレーションスポーツ４競技、全国障害者スポーツ大会は正式競技２競技、オープン競技１競技が開催されることから、競技会場の整備と大津市大会準備委員会を設置し大会開催に向けた準備を進めていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成２３年７月に採択された「スポーツ宣言日本」において示された「スポーツの２１世紀的価値」を踏まえた「２１世紀国体像」が提示され、国体の充実・活性化に向けた取り組みが進められている。 （見直しや改善等の経過） 会場整備については、既存施設の有効活用や、大会終了後の継続的な活用も視野に入れた整備方針で事業を進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民と大会参加者などを対象に
目的（何のために）	本大会の開催を契機として、競技力の向上はもとより、市民の体力向上・運動能力を高め、スポーツの普及・振興に繋げるとともに大津の魅力を全国に発信するため
手段（どのようなやり方で）	大津市大会準備委員会を設置し、県、各種団体、市民と連携を図りながら開催準備を進め
成果（どのような状態にするのか）	大会開催の成功と本市のスポーツの普及・振興を目指すとともに大津市の魅力を全国に発信する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	62,089	224,718	458,178	735,614	1,333,703	2,890,114	8,128
事業費	4,853	168,718	359,078	437,014	811,103	2,335,514	8,128
国庫支出金	0	75,543	152,960	160,918	0	0	0
県支出金	0	33,961	51,271	55,345	387,569	919,353	0
地方債	0	37,358	100,100	104,900	0	0	0
その他	0	0	43	5,323	993	43	43
一般財源	4,853	21,856	54,704	110,528	422,541	1,416,118	8,085
人件費計	57,236	56,000	99,100	298,600	522,600	554,600	0
事務・技術（人）	6.98	7.00	12.00	35.00	63.00	67.00	0.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	1.00	6.00	6.00	6.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0060
評価年度　令和 3年度　　進捗区分　評価完了
所属　2454　市民部国スポ・障スポ大会推進室
事務事業番号　04032　国民スポーツ大会開催事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-08-00	国民スポーツ大会開催事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)大会準備（実行）委員会の開催数	回数	2.00 2.00	3.00 8.00	10.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	2.00 0.00	0.00 0.00
(活動)大会啓発・ＰＲ事業数	回数	1.00 1.00	3.00 4.00	5.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	0.00 0.00
(成果)市民の大会開催の認知度	%	50.00 54.90	60.00 54.30	65.00 0.00	75.00 0.00	85.00 0.00	90.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	大会開催基準要項に基づき委員会を設置している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	開催に向けた体制の構築等により事業が概ね円滑に進んでいる。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	実行委員会形式で事業を進めており効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大会を契機に競技スポーツの裾野の拡大を図ることができる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	大会開催に向けた諸準備を着実に進めるため、「大津市大会開催総合年次計画」に基づいた各事業の実施と競技会場の整備を計画的に進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	大会開催準備については、県ならびに各競技団体・関係機関等と連携を密にして進めるとともに、競技会場の整備においては、議会、地元関係者等への説明もしっかり行いながら大会開催準備を円滑に進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2454　市民部国スポ・障スポ大会推進室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04032　国民スポーツ大会開催事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)大会準備（実行）委員会の開催数	回数	2.00 2.00	3.00 8.00	10.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	2.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	委員会（総会、常任委員会、専門委員会）の開催回数						
(活動)大会啓発・ＰＲ事業数	回数	1.00 1.00	3.00 4.00	5.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	啓発・ＰＲ事業の実施回数						
(成果)市民の大会開催の認知度	%	50.00 54.90	60.00 54.30	65.00 0.00	75.00 0.00	85.00 0.00	90.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	大津市の運動・スポーツに関する市民意識調査結果						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0061				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	栗田　昌伸
所属	1115	市民部戸籍住民課		記入者	江宮　洋人
事務事業番号	00603	斎場管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034　公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001　公共施設等の適正化				
事務事業	005　斎場管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市斎場条例				
事業概要	（事業概要） 市営葬儀事業は、昭和２６年の業務開始以来、市民福祉の向上を目的に低廉・安心な葬儀に努めてきた。平成２２年７月設置の「葬儀事業のあり方検討委員会」の提言を受け、平成２４年度より規格葬儀制度の創設、斎場施設には指定管理者制度を導入した。実施後、３年が経過し当初の目的は一定達成されたため、規格葬儀制度は廃止した。平成２７年度からは指定管理者による斎場葬儀プランの導入や１日２葬儀、初七日法要など斎場施設の利用促進を図っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢社会に伴い年間死亡者数・火葬需要の増加傾向が続くと予想される。葬儀は直葬・１日葬など簡易な葬送の需要が増加傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 平成２４年度に指定管理者制度を導入して以降、火葬業務のみならず葬儀ホール等も含めた利用促進を図ってきた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	斎場利用者を対象として
目的（何のために）	火葬及び葬祭事業の円滑な実施のため
手段（どのようなやり方で）	大津聖苑及び志賀聖苑を安定的に稼動し、故人を送るにふさわしい場を提供することで
成果（どのような状態にするのか）	市民福祉の向上と生活環境の充実が図られる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	29,980	30,018	29,344	30,728	29,814	30,728	29,814
事業費	25,880	26,018	25,834	26,728	25,814	26,728	25,814
国庫支出金	1,359	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	26,018	25,834	24,070	0	24,070	0
一般財源	24,521	0	0	2,658	25,814	2,658	25,814
人件費計	4,100	4,000	3,510	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

整理番号　0061
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
事務事業番号　00603　斎場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-47-00-01-00	斎場管理運営事業費	市民部戸籍住民課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)葬儀ホール、霊安室利用件数	件	1,250.00 1,166.00	1,250.00 1,262.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00
(成果)葬儀ホール稼働率	%	52.00 47.00	52.00 50.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	公衆衛生及び住民福祉の観点から市で実施することが妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年間を通じて適切に施設管理及び火葬業務が実施されている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者制度の導入で、市の人的資源の負担が軽減されている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	専門知識を有する指定管理者の運営が利用者満足度を高めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	引き続き指定管理者制度により、効率的で安定した管理運営を行っていく。供用開始から２５年以上が経過し老朽化が進むため、予防保全型維持管理を推進し施設の長寿命化を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	指定管理者制度により経営の効率化や経費のスリム化に取り組むとともに、安定した斎場管理及び運営が実施されている。引き続き指定管理者の管理及び指導を行うとともに、地元自治会等、地域への丁寧な報告に努め、円滑な施設の管理運営を図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00603　斎場管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)葬儀ホール、霊安室利用件数	件	1,250.00 1,166.00	1,250.00 1,262.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00	1,270.00 0.00
	指標説明	大津聖苑及び志賀聖苑のホール等利用件数						
(成果)葬儀ホール稼働率	%	52.00 47.00	52.00 50.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00	52.00 0.00
	指標説明	大津聖苑及び志賀聖苑の葬儀ホールの使用割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 4年 9月15日

整理番号	0062				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	栗田　昌伸
所属	1115	市民部戸籍住民課		記入者	江宮　洋人
事務事業番号	01208	大津市営霊園管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034　公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001　公共施設等の適正化				
事務事業	004　大津市営霊園管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市営霊園条例及び同施行規則				
事業概要	（事業概要） 市内の墓地需要の増加に対応するため、平成６年４月に市営霊園を開設し、平成１９年１０月に全ての区画（９６７区画）の使用者が決定した。現在は維持管理及び返還に伴う空き区画の募集を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 当霊園は市内唯一の市営墓地である。近年の墓地に対する市民意識は多様化していることから、墓じまい等による年間数か所の空き区画が発生するが、再募集時には多数の申込みがあり、需要は高い。 （見直しや改善等の経過） 墓地返還に伴う再募集については、平成３０年度までは年１回としていたが、平成３１年度は年２回、令和２年度は年３回、令和３年度は年２回実施し、空き区画数の状況により、募集回数の見直しを行ってきた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市内の墓地需要の増加に対応するため
手段（どのようなやり方で）	１　使用者の公募（戸籍住民課及び支所で募集要領の配布） ２　維持管理（年間：除草２回、清掃１０回、噴水清掃９回、剪定１回）施設修繕　※便所清掃、ごみ分別別途
成果（どのような状態にするのか）	空き区画の募集に伴う全区画利用、定期的な清掃、及び老朽化による施設の修繕により安心で快適な施設の維持管理が図られている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,575	10,373	8,261	9,760	13,484	9,984	9,984
事業費	5,655	5,449	4,931	4,960	8,684	5,184	5,184
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,655	5,449	4,931	4,960	5,010	5,010	5,010
一般財源	0	0	0	0	3,674	174	174
人件費計	4,920	4,924	3,330	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.04	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0062
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-44-00-01-00	大津市営霊園等管理運営事業費	市民部戸籍住民課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)維持管理回数	回	22.00 22.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
(活動)募集回数	回	1.00 3.00	1.00 2.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
(成果)使用許可率　年度別（９月末現在）	%	100.00 56.00	100.00 66.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)使用率　年間	%	100.00 99.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の公共墓地に対する需要は高く妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年間を通じて使用率が９８％以上であり、高水準を維持している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	清掃・除草業務等を業者に委託し、適切に維持管理を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	空き区画の再募集を行うことで、施設の使用率向上に努めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	安心で快適な施設の維持管理に努めるとともに、空き区画の再募集にあたっては、市ホームページだけではなく石材店にもＰＲを依頼し申込みに繋げていく。また、今後予想される経年劣化に伴う施設改修についても、コストを意識した計画的な施設管理を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	使用率は高水準を維持しており、市営霊園に対する市民の需要は継続している。引き続き施設の適正な管理運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)維持管理回数	回	22.00 22.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	除草２回、清掃１０回、噴水清掃９回、剪定１回						
(活動)募集回数	回	1.00 3.00	1.00 2.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	返還に伴う募集（年１回）						
(成果)使用許可率　年度別（９月末現在）	%	100.00 56.00	100.00 66.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	使用許可件数／募集数						
(成果)使用率　年間	%	100.00 99.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	使用区画数／全区画数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0063				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉田　美紀
所属	1113	市民部消費生活センター		記入者	吉田　美紀
事務事業番号	00308	消費者啓発事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003　消費者トラブルへの対応				
事務事業	001　消費者啓発事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律等				
事業概要	（事業概要） 超高齢化社会、高度情報通信社会の中にあって、消費者が主体的かつ合理的に行動できるよう、消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、啓発活動の充実を図るとともに、さまざまな場における消費者教育を推進していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 情報通信技術の進展とともに商品流通形態が変容する中、市民が消費者被害に遭わないよう安全を確保するため、さらなる注意喚起と啓発に努める必要がある。 （見直しや改善等の経過） 県交付金の活用とともに、関係機関との共催による開催により、消費生活に関する知識の普及や情報提供に資するための啓発活動の充実を図るとととともに、学校や職域における消費者教育の推進に努めた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市民の消費生活の安定と向上のために
手段（どのようなやり方で）	消費生活に関する知識の普及や情報提供に資するため、各種講座の開催や情報発信等の啓発活動の充実を図るとともに、学校や職域等における消費者教育の推進に係る事業を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	消費者の自立を支援することにより、市民の消費生活の安定と向上を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	4,367	4,523	4,568	4,888	4,888	4,721	4,721
事業費	1,024	1,535	1,904	2,224	2,224	2,057	2,057
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	132	188	319	383	293	209	209
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	892	1,347	1,585	1,841	1,931	1,848	1,848
人件費計	3,343	2,988	2,664	2,664	2,664	2,664	2,664
事務・技術（人）	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
技能労務（人）	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.19	0.12	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0063
評価年度　令和 3年度　　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-03-00	消費者啓発事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	30.00 10.00	36.00 11.00	20.00 0.00	20.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	960.00 243.00	1,160.00 707.00	600.00 0.00	600.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律に基づくため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新型コロナウイルス感染症により出前講座の回数が制限されたため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	オンラインを活用した講座など開催手法を工夫したため。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	講座の実施回数が制限される中でも啓発活動を継続したため。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	消費者被害の拡大防止に向けて、引き続き、地域や学校における講座等の啓発活動を行うとともに、関連する情報を前広に市民に対し発信するため、各世代に適した啓発の方法を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	消費生活問題に対し、市民が主体的かつ合理的な行動ができるよう、デジタル媒体を活用した周知方法も含め、各世代に適した効果的な啓発活動を推進されるよう努められたい。また、成年年齢引下げを踏まえ、学校等における消費者教育については、県など関係機関と役割を整理し連携の上、継続的に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	30.00 10.00	36.00 11.00	20.00 0.00	20.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	講座１５・出前等３０　計４５　新型コロナウィルス感染拡大防止により令和２年度：３０%減、令和３年度：２０%減　新型コロナウィルス感染症の拡大状況により出前講座等の開催数（目標値）調整						
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	960.00 243.00	1,160.00 707.00	600.00 0.00	600.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	講７００・出７５０　計１４５０　※活動指標と同様に目標減少（30名/回）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0064				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉田　美紀
所属	1113	市民部消費生活センター		記入者	吉田　美紀
事務事業番号	02064	消費生活相談事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003　消費者トラブルへの対応				
事務事業	003　消費生活相談事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費生活条例、消費生活センター条例				
事業概要	（事業概要） 社会経済環境の変化に伴い、複雑化、専門化する消費者問題に対応するため、消費者安全の確保に関し、事業者に対する消費者からの相談について、資格を有する消費生活相談員がその対応にあたる。消費生活相談員は、相談の内容に応じ、助言、情報提供、あっせん又は専門機関の紹介等を行う。相談内容に係る情報については、国のデータベースに登録され、国や県などの関係機関との連携のもと、消費者トラブルの未然防止や被害の拡大予防に役立てられる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 情報通信技術の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費者からの相談内容は多様化複雑化しているため、資格を有する消費生活相談員の対応が求められる。 （見直しや改善等の経過） 消費生活相談窓口の充実と市民サービス向上のため相談員の員数を維持するとともに、知識や技術の向上を図るための研修機会の充実に努めた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市民の消費生活の安定と向上のために
手段（どのようなやり方で）	消費生活相談窓口を開設し、事業者に対する消費者からの相談について、資格を有する消費生活相談員が対応し、助言、情報提供、あっせん等を行うことで（相談内容に係る情報を国のデータベースに登録）
成果（どのような状態にするのか）	消費者トラブルの未然防止や被害の拡大予防などにより、市民の消費生活の安定と向上が図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	20,395	20,087	20,185	20,578	20,569	20,502	20,502
事業費	518	893	1,126	1,519	1,510	1,443	1,443
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	518	893	479	484	484	484	484
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	647	1,035	1,026	959	959
人件費計	19,877	19,194	19,059	19,059	19,059	19,059	19,059
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	6.10	5.84	5.89	5.89	5.89	5.89	5.89
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0064
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-04-00	消費生活相談事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)相談件数	件	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		2,842.00	2,498.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		96.00	95.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者基本法や消費者安全法に基づくものであるため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	消費生活相談に対し適切に処理し目標値を上回ったため。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	消費生活相談員６名で全相談に対応し弁護士支援も行ったため。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	相談対応により消費者の安全の確保に努めたため。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	情報通信技術の進展に伴い商品流通形態が変容する中、多様化複雑化する相談に適切に対応するため、消費生活相談員が研修等を通じて研鑽を重ね、消費者トラブルに関する知識等の向上を図るよう努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	消費生活相談員の相談体制の維持及び相談機能の充実はもとより、関係部局や団体とさらに連携を深め、本市に適した効果的な見守りネットワークを構築しながら情報交換を積極的に行い、引き続き、消費者安全を確保していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)相談件数	件	2,500.00 2,842.00	2,500.00 2,498.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	年間相談件数						
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00 96.00	95.00 95.52	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	（助言（自主交渉）＋その他情報提供＋あっせん解決＋他機関紹介）÷相談件数×１００						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0065				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	2451	市民部歴史博物館		記入者	寺島　典人
事務事業番号	00782	歴史博物館資料調査・収集事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002　歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	001　歴史博物館資料調査・収集事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例・大津市附属機関設置条例				
事業概要	（事業概要） 常設展示・企画展示・れきはく講座及びレファレンス等によって、市民に大津の歴史と文化にかかる情報を発信している。大津・近江にゆかりの深い資料（美術工芸・歴史・考古・民俗の各分野）を、購入・受贈・受託等によって収集するとともに、市内の社寺・旧家等に長年保管されてきた資料の調査を実施し、これらの成果を展示等に活用している。 令和3年度は、銅造勢至菩薩立像（個人蔵）の調査成果について、報道機関等に発表するとともに館内で展示公開した。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域や個人が守り伝えてきた文化遺産が市内には数多く残されている。しかしこれらは時代の変化の中で、維持継承が困難になり、廃棄・消失・散逸の危機に瀕しており、調査や保存を継続的に行なう必要がある。 （見直しや改善等の経過） 受託資料が国重要文化財に指定されるなど、地域の資料を調査・保管し、後世に伝える役割はますます重要になっている。地域との連携を深める活動をより進め、その成果を展示や講座で紹介していく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内の社寺、旧家、地域の古老、公共施設のほか、大津の歴史に関連する市外の資料所有者に対し
目的(何のために)	大津の持つ豊かな歴史や文化を保全・発信するために
手段(どのようなやり方で)	他の博物館学芸員、研究者及び市民等と連携しながら調査研究し、必要に応じて資料を収集することで
成果(どのような状態にするのか)	資料及び調査成果を蓄積し、博物館展示やレファレンスなどを通じて、その成果を市民等が活用できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,245	19,553	23,401	23,539	23,539	23,539	23,539
事業費	2,744	2,623	4,871	5,009	5,009	5,009	5,009
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	70	75	0	0	0	0
一般財源	2,744	2,553	4,796	5,009	5,009	5,009	5,009
人件費計	16,501	16,930	18,530	18,530	18,530	18,530	18,530
事務・技術（人）	1.90	2.00	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

整理番号　0065
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00782　歴史博物館資料調査・収集事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-60-50-00-03-00	歴史博物館資料調査・収集事業費	教育委員会歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(成果)博物館年間購入・受贈資料件数	件	10.00 12.00	10.00 18.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
(活動)博物館年間資料収集件数	件	30.00 12.00	30.00 18.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	資料の調査や収集は学芸員によって行う必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	資料の収集活動を積極的に進め、その成果を展示等に活かしている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	所蔵者との信頼関係を構築しながら有効的に行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津の豊かな歴史を将来に伝える重要な手段である。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	年間購入・受贈件数は１８件で目標を上回ったが、受託(資料預かり)件数は０件で、目標に至らなかった。調査研究の分野では新たに資料集の刊行を開始し、情報発信を強化した。本年度は新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、所蔵者との関係を深めて調査収集を進めることで、資料価値の位置づけや保存・活用につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	歴史博物館の基本となる事業である。引き続き大津の歴史を掘り起こす地道な作業を続け、所蔵者との信頼関係を深めながら、その成果を展示等により市民等に還元すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00782　歴史博物館資料調査・収集事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(成果)博物館年間購入・受贈資料件数	件	10.00 12.00	10.00 18.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	受贈や購入により博物館の所蔵となった資料の件数						
(活動)博物館年間資料収集件数	件	30.00 12.00	30.00 18.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	購入・受贈・受託による年間資料収集件数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0066				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	2451	市民部歴史博物館		記入者	寺島　典人
事務事業番号	00783	博物館普及啓発事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002　歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	004　博物館普及啓発事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	（事業概要） 一般向けの美術工芸、歴史等各分野の講座・現地見学会や、小学生向けの夏休みワークショップなどを開催することにより、大津の豊かな歴史と文化の発信を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 大津の歴史を知りたいという市民のニーズは、テレビや雑誌等によるものから、自身が住む地域の歴史を知りたいというものまで様々ある。また、世代等によっても異なることから、幅広いニーズに応える必要がある。 （見直しや改善等の経過） 展覧会の関連講座をはじめ、入門的な講座や現地見学会など、大津の歴史・文化が深く理解できる事業を進めてきた。また、小学校の授業内容にあわせ、学校への出張授業等も行っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民や大津の歴史や文化に関心持つ国内外の来訪者等に対し
目的（何のために）	大津の歴史と文化の豊かさを発信するため
手段（どのようなやり方で）	れきはく講座や子ども向けワークショップの開催、大津絵や近江八景に関するグッズを頒布することで
成果（どのような状態にするのか）	大津の歴史と文化に対する理解を深め、郷土への愛着を深められるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額	令和 5年度 計画額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額
トータルコスト	13,562	14,722	16,576	17,016	16,676	16,676	16,676
事業費	1,500	1,762	2,016	2,456	2,116	2,116	2,116
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	464	835	957	0	0	0	0
一般財源	1,036	927	1,059	2,456	2,116	2,116	2,116
人件費計	12,062	12,960	14,560	14,560	14,560	14,560	14,560
事務・技術（人）	0.80	1.00	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0066
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00783　博物館普及啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-60-50-00-06-00	博物館普及啓発事業費	教育委員会歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)れきはく講座等開催回数	回	15.00 12.00	25.00 28.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
(成果)れきはく講座等参加者数	人	600.00 630.00	1,000.00 1,299.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	展示だけでなく、資料の意味や背景を講座や現地見学会などで説明			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	参加者の学習意識は高く、毎回の講座は人気がある。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	多くを職員で担い、外来講師も近隣を中心に招聘している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津の歴史をわかりやすく伝え、参加者の理解を深めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の影響で、募集した講座が４回中止・延期となったが、開催回数を増やすことで目標値に達した。また、トワイライトミュージアム（閉館後の展示解説会）や展覧会のスライドトークなど、新たなメニューを試み、好評を得た。今後は、少しずつ平常時の状態に戻していくとともに、ホームページやＳＮＳ（ツイッター・インスタグラム）を通じて、来館者以外への情報発信を強化・充実させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	地域の歴史や文化への関心が高まっているなか、市民等のニーズを踏まえた学習機会の提供や情報発信に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00783　博物館普及啓発事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)れきはく講座等開催回数	回	15.00 12.00	25.00 28.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	年度の計画の開催回数						
(成果)れきはく講座等参加者数	人	600.00 630.00	1,000.00 1,299.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00	2,800.00 0.00
	指標説明	定員×定数　講座80名×30回＝2400名、現地20名×4回＝80名、ワークショップ20名×16回＝320名						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0067				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	2451	市民部歴史博物館		記入者	寺島　典人
事務事業番号	00784	博物館企画展示事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002　歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	002　博物館企画展示事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	（事業概要） 企画展の開催にあたっては、①国宝・重要文化財など一級の文化財を鑑賞する機会を提供するとともに、②市内のそれぞれの地域の持つ歴史と文化の特性を紹介することによって、郷土への愛着と理解を深めていただく機会を提供するという２つの視点から、現在概ね年３回の企画展を開催している。また当館は、文化庁の重要文化財の公開承認施設に認定されており、重要文化財の公開とともに、未指定文化財の紹介にも力点を置きながら、企画展を開催している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内には多くの指定、未指定の文化財が伝えられてきたが、市民がこうした文化財に触れる機会はあまりない。身近な文化財に触れることで、地域の歴史に関する理解を深める機会を提供することが必要である。 （見直しや改善等の経過） 幅広い市民に地域の歴史・文化の関心が高まるよう、常に時機に適ったテーマの展示を心がけている。昨年度は、秋の「西教寺」展や春の「蘆花浅水荘と山元春挙画塾」展のほか、夏季には子ども向けの「大津のどうぶつ博物館」展やロビー展として「TOKYO1969～大津に聖火がやってきた」を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や大津の歴史や文化に関心持つ国内外の来訪者等に対し
目的(何のために)	指定文化財や、地域で守られ人知れず伝わってきた、大津の文化財を発信するために
手段(どのようなやり方で)	指定文化財の公開を主とした市内外に向けた企画展や、市内の各地域にスポットをあてた市民向けの企画展など、多様な鑑賞機会を提供し
成果(どのような状態にするのか)	豊かな歴史と文化への理解を通じて、郷土に対する愛着を育む。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	37,886	34,585	36,205	56,205	46,205	36,405	36,205
事業費	15,514	11,125	12,745	32,745	22,745	12,945	12,745
国庫支出金	5,950	0	0	20,000	10,000	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,864	3,683	4,189	0	0	0	0
一般財源	3,700	7,442	8,556	12,745	12,745	12,945	12,745
人件費計	22,372	23,460	23,460	23,460	23,460	23,460	23,460
事務・技術（人）	2.00	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0067
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00784　博物館企画展示事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-60-26-00-01-00	博物館企画展示事業費	教育委員会歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)国指定文化財展示件数	件	4.00 24.00	4.00 21.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(成果)企画展観覧者数	人	10,000.00 11,633.00	10,000.00 8,312.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	本市の指定文化財を把握し、公開施設を有している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	総本山西教寺の全国的に注目される寺宝を展観した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市内の資料を中心に出陳し、集荷の効率性を高めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の展示品を数多く展示し、地域住民の満足に貢献した。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	西教寺で11月に予定されていた不断念仏相続十九万日大法会にあわせ、同寺の寺宝をかつてない規模で展示し、全国の仏像ファンや研究者、坂本の市民、檀家などに観覧していただいた。また、夏には動物をモチーフとした子供向けのわかりやすい展示を、春には地元の画家、山元春挙の画塾の展示を行い、膳所の蘆花浅水荘や膳所焼き美術館などと連携するなど、地域密着で様々な階層のニーズにこたえられるよう、メリハリをつけた企画を行った。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数は目標を下回った。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、企画展示を通じて、市内に所在する指定文化財をはじめとする豊かな文化遺産を紹介し、地域への理解と愛着を深められるようにすること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00784　博物館企画展示事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)国指定文化財展示件数	件	4.00 24.00	4.00 21.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	重要文化財公開促進事業の対象とされる目安の展示件数						
(成果)企画展観覧者数	人	10,000.00 11,633.00	10,000.00 8,312.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00
	指標説明	前年度計画（予算書）の観覧者数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 4年 9月15日

整理番号	0068				
評価年度	令和 3年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	2451	市民部歴史博物館		記入者	柳田　秀
事務事業番号	00785	博物館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002　歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	003　博物館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	（事業概要） 博物館の目的である各種資料の収集・保管・調査研究及び公開に係る諸事業を円滑に実施し、市民に快適な展示環境を提供することが管理運営事業の根幹である。そのため施設のメンテナンスやコンピュータの保守などを本事業で実施しているが、ここでの指標は、歳入面に係る常設展示の運営と、市民の文化活動の発表の場を提供する貸し館業務を挙げた。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域や個人で守られてきた文化財の継承が困難となり、当館への寄託・寄贈の案件も増えてきている。文化財を安全に収蔵するためにも、また来館者が快適に観覧するためにも施設の維持管理が重要である。 （見直しや改善等の経過） 施設の経年劣化を避けるためにも、計画的な修繕が必要であり、予算の許す範囲で手を尽くしている。令和３年度は、保守点検で指摘を受けた中央監視装置の更新や収蔵庫系統蒸気加湿器更新工事等を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	博物館施設を
目的（何のために）	文化財が適切に収蔵・公開できる環境を整えるとともに、来館者に快適な環境で展示活動や鑑賞できる環境を整えるため
手段（どのようなやり方で）	資料の保存を図りながら、適切な管理運営や適宜修繕等を行い
成果（どのような状態にするのか）	来館者が安全かつ快適に鑑賞できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	120,536	152,048	131,040	297,993	185,561	155,130	253,028
事業費	78,021	110,098	89,090	256,043	143,611	113,180	211,078
国庫支出金	1,443	2,538	0	0	24,000	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	800	120,000	0	0	0
その他	5,234	8,382	6,835	6,835	6,835	6,835	6,835
一般財源	71,344	99,178	81,455	129,208	112,776	106,345	204,243
人件費計	42,515	41,950	41,950	41,950	41,950	41,950	41,950
事務・技術（人）	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 4年 9月15日

整理番号　0068
評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-60-50-00-01-00	博物館管理運営事業費	教育委員会歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開館日数	日	270.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		265.00	295.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)企画展示室貸室件数	件	15.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00
		13.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)常設展示観覧者数	人	20,000.00	20,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00
		20,667.00	16,019.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	16,000.00	16,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00
		16,645.00	24,112.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	文化財を適切に収蔵保管し、適宜展示公開する必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	貸室及び常設展示室全体では入館者数は増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	照明器具のＬＥＤ化など、電力量の削減に努力している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市内の文化財や歴史文化に触れられる場を提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	来館者数は新型コロナウイルス感染症の影響により常設展示観覧者数は減少したが、貸室入場者数を合わせた数では増加した。また、資料を適切に管理するため、収蔵庫の蒸気加湿機や中央監視装置の更新を実施した。今後は施設の維持管理のため老朽化した箇所を計画的な修繕を行いながら、展示室や展示ケースの照明設備のLED化などにより、電力量の削減に努める。また、新琵琶湖文化館の建設にともない、博物館の魅力向上や連携強化のため、常設展示の改修を検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	限られた予算の中で、計画的な施設の修繕等の維持管理を行ない、収蔵品の適正な管理や、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、来館者に快適な空間を提供できるように努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 4年 9月15日

評価年度　令和 3年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開館日数	日	270.00 265.00	300.00 295.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	博物館の開館日数						
(活動)企画展示室貸室件数	件	15.00 13.00	38.00 24.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00
	指標説明	企画展示室Ａ・Ｂの貸室の件数						
(成果)常設展示観覧者数	人	20,000.00 20,667.00	20,000.00 16,019.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00
	指標説明	常設展示室の年間観覧者数						
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	16,000.00 16,645.00	16,000.00 24,112.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00
	指標説明	貸しギャラリーの観覧者数						